

vol.34 july. 2020



拓海

「海」を切り開く匠の業と心

CONTENTS

2020年 出会い	
入学特集	
入学・進学のみなさんへ	3
在学生から新入生のみなさんへ	7
先輩留学生から新入生のみなさんへ	13
大学での学び方	14
卒業生より 業界で活躍しているOB・OGの方々	26
新任教員の紹介	28
自治委員会・学生会 報告書	31
大学祭特集 ～海王祭～	32
就職情報	33
学生相談の体制	37
お知らせ	40

◆2020年 出会い

■入学特集

◎入学・進学のみなさんへ

- 困難を乗り越え、さらなる飛躍を 竹内 俊郎…… ③
 新入生の皆さんへ 川辺みどり…… ④
 新入生の皆さんへ 井関 俊夫…… ⑤
 頑張る 田中 祐志…… ⑤
 大学院へ入学・進学した皆さんへ 舞田 正志…… ⑥

◎在学生から新入生のみなさんへ

- 楽しい大学生生活を 松本 龍介…… ⑦
 新入生の皆さんへ 細川 知芳…… ⑦
 新入生の皆さんへ 小松俊士郎…… ⑧
 新入生へ伝えたい事 宮城 健杜…… ⑧
 新入生の皆さんへ 米原 希…… ⑨
 在学生から新入生へ 海谷 尊実…… ⑨
 経験の蓄積 八色梨香子…… ⑩
 新入生の皆さんへ 唐澤 卓朗…… ⑩
 新入生の皆さんへ 藤野 征也…… ⑪
 新入生の皆さんへ 大間知卓武…… ⑪
 おうち時間のすすめ 津山 透…… ⑫
 新入生の皆さんへ 阿久津惟斗…… ⑫

◎先輩留学生から新入生のみなさんへ

- Enjoy your college life 馬 慶保…… ⑬

■大学での学び方

◎学科の特色ある実習の紹介

- 「海洋政策文化学科」 佐々木 剛…… ⑭
 「流通情報システム」 麻生 敏正…… ⑮

◎実習感想記

- 実習感想記 佐藤 鷹生…… ⑯
 実習感想記 高木 紗希…… ⑯
 実習感想記 清水 良弥…… ⑰
 実習感想記 岡田 七星…… ⑰
 実習感想記 栗原 礼子…… ⑱
 流通情報工学実験 濱 芙美花…… ⑱
 臨海生物学実習 北野 瑞生…… ⑲
 実習感想記 工藤 有葉…… ⑲

◎資格取得に向けて

- 海技士筆記試験の合格に向けて 齋藤 祐輔…… ⑳
 学芸員資格の取得を目指して 中森 美希…… ㉑

◎大学院で学べること

- 海洋生命資源科学専攻(博士前期課程)
 濱崎 活幸…… ㉒
 応用生命科学専攻(博士後期課程)
 胡 夫祥…… ㉓
 海洋資源環境学専攻(博士前期課程)
 甘糟 和男…… ㉔

◎卒業論文・修士論文への取り組み方

- 卒業論文への取り組み方 伊藤 尚登…… ㉕
 卒業論文への取り組み方 小島 寛輝…… ㉕
 修士論文への取り組み方 上村 萌佳…… ㉖

■卒業生より

◎業界で活躍しているOB・OGの方々

- 海洋政策という新たな世界で 藤井 巖…… ㉗
 在校生へ 後藤 祐希…… ㉘

■新任教員の紹介

- 海洋生物資源学部門 市田 健介…… ㉙
 海洋政策文化学部門 原田 幸子…… ㉚
 海洋政策文化学部門 若松美保子…… ㉛
 海洋電子機械工学部門 釜田 和利…… ㉜
 流通情報工学部門 中井 拳吾…… ㉝
 産学・地域連携推進機構 設楽 愛子…… ㉞

■自治委員会・学生会報告書

- 品川キャンパス自治委員会…… ㉟
 海洋工学部 学生会…… ㊱

■大学祭特集

- 来年の海王祭でお待ちしております
 伊集院龍之介…… ㊲

■就職情報

- ・令和元年度卒業者の就職先…… ㊳

■学生相談の体制

- ・学生相談室について…… ㊴
 ・令和2年度学生支援教員…… ㊵
 ・本学の学生相談体制について…… ㊶

■お知らせ

- 交換留学をしてみませんか? …… ㊷
 図書館からのお知らせ…… ㊸
 国立科学博物館および国立美術館の
 利用について…… ㊹
 緊急時連絡システムについて…… ㊺
 ネットワーク障害防止のための注意事項…… ㊻
 東京海洋大学校友会のご案内…… ㊼



2020年 出会い

入学特集

入学・進学のみなさんへ

困難を乗り越え、さらなる飛躍を

学 長
竹 内 俊 郎

新入生および進学生の皆さん、今年度も早いもので3か月が経ちました。皆さんには、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため、キャンパスへの入構制限など、種々の活動制限を要請したことから、思い描いていたキャンパス生活がなかなかできず、つらい思いをされたのではないのでしょうか？そのほかの学年の皆さんは、しっかり勉学・研究に励める環境を確保できていますか？

2020年上半期は大変な年になっています。COVID-19が猛威を振るい、世界中で多くの人命が失われるとともに、大きな影響を受けています。今回の件で、広範な分野で、世界が密接に絡み合い、一国だけでは対処できないことがはっきりしました。しかし、今後、自国優先主義が過度に助長されたり、新たなナショナリズム（国家・民族主義）が台頭したりすることがあったとしても、皆さんには、これらの状況をしっかりと把握し、世界を見据えて、前向きに判断し、実行していく姿勢を持っていただきたいと思います。

今回、本学では、卒業式のみならず、皆さんが楽しみにしていた入学式も中止にせざるを得ませんでした。皆さんにとって、人生の節目となる掛け替えのないこれらの行事を中止したことは、学長として痛恨の極みです。

HP上にある「ご入学される皆様へ お祝いメッセージ」の中で、今から51年前の1969（昭和44）年、私が、本学の前身である東京水産大学に入学した時も、入学式がなかったことを書きました。現況下では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の1つとし



て、「ロックダウン（都市封鎖）」という言葉が使われていますが、その当時は、大学紛争の影響から学生を排除するという意味で、「ロックアウト」という言葉が使われていました。春が過ぎ、夏が過ぎ、このままどうなってしまうのだろうかという一抹の不安感があったことを覚えています。その後、10月になって、簡素な開講式が行われ、やっと授業が始まったのでした。そのような実体験があるので、私には、今回の件も、何とかなる、何とか出来る、との気持ちが強くあります。一方、緊急事態宣言の中、外出も規制されたことから、51年前とは状況が異なることも理解しています。いずれにせよ、私の学長任期の最後の年に、このようなことになったことは、何かしら“縁”を感じざるを得ません。

また、今回、授業の開始が遅くなったことで不安な気持ちを抱かせたことを、大変申し訳なく思っています。何とか5月11日から開始しましたが、これまでのような「対面」ではなく、インターネットを利用した

「遠隔」による授業形態をとらざるを得なかったことから、皆さんに大変なご不便をおかけしているのではないのでしょうか？

さて、本学が掲げる、「ビジョン2027 パージョン2 (v.2)」についてお話しします。パンフレットとともに、HPにも掲載していますが、ご覧いただけましたか？

私が学長に就任した2015年に公表した「ビジョン2027」を昨年改定したもので、2027年までに到達すべき目標を掲げています。

まず、「教育」については、I. 国際的な基準を満たす質の高い教育、II. 海洋分野で世界をリードする独創的な教育プログラム、III. 国内外の海洋関連機関との連携、IV. 産官学のリーダーの排出、次に、「研究」では、I. 組織的な研究支援体制の構築および制度の充実、II. 将来におけるトップクラスの研究を支える人材養成、III. 国際レベルでの競争力強化および共同研究の充実、そして、「国際化」では、I. 多文化交流が可能な国際性豊かなキャンパス、II. 多様なグローバル人材の育成、III. 海外との連携及び共同研究・教育事業の展開、IV. 国際交流を推進する組織体制の強化、を掲げています。そのほか、「社会・地域連携」および「管理・運営」についても項目を立てています。

本学の教職員は、すべてこの「ビジョン2027 v.2」に基づいて、職務を遂行しています。今後激動する社会の中で、生き抜くすべが、このビジョンの中に入っていると思いますので、皆さんも、このアクションプラン、特に教育、研究、国際化の各項目を熟読していただき、ぜひ有効に役立てていただければ幸いです。

最後に、式辞の最後にも述べましたが、本学が掲げる理念や人材育成の目標を念頭に置きつつ、教育研究上の目的を達成するための教育プログラムに従って、確実に、そして、積極的に学んで下さい。それらを通じて培われた実力と、それに裏付けられた物事に動じない強い精神力があれば、自信を持った社会人として、21世紀を生き抜く人材になることができると信じております。

また、多くの掛け替えのない良き友人を得、社会で必要とされる知識とともに、豊かな先見性や想像力を持って未来に挑戦し、活躍できる資質を本学で身に付けられることを祈念いたします。

さあ“海洋の未来を拓くために”さらなる飛躍を！

新入生の皆さんへ



海洋生命科学部長

川辺 みどり

ご入学おめでとうございます。

この誌面を借りて「本学でよく学んでください」とお伝えしたいと思えます。当たり前のようにですがこれはなかなか難しいことだからです。

佐伯胖さんの著書「『学び』の構造」には、「学ぶ」とは「わかる」こと、とあります。私たちは本を読んだり、人の話を聞いたりして、新しい知識を得ます。けれども知識をおぼえただけでは、学んだことになりません。「おぼえる」は、「わすれる」と対をなす、可逆的な過程だからです。

一方、「わかる」は、不可逆的な過程です。私たちが「わかる」とき、新しい知識は、自分の頭のなかの世界観—網のような形状を想定しています—の、正しい位置（結節点）に取り込まれます。そこで網の一部となり、他の結節点とつながることで、ものごとを関連づけ、あらたな「意味」を生み出します。つまり、「わかる」とは、私たちの世界観が正しく満たされ、広がってゆく過程なのです。

こんなふうに「よく学ぶ」ためには、準備が必要です。

まず、努めて栄養バランスのとれた食事と十分な休息をとって、身体と心の調子をととのえてください。今年の春は、大きなストレスを受けて、体調を崩した方もいたことと思います。健やかさを取り戻してください。

もうひとつ、欠かせないのは、「学びの友」です。私たちが同じ知識を得ても、一人ひとりの異なる世界観によって生み出される「意味」は、全く同じではありません。そこで、友と語り合い、互いの「意味」のちがいを知り、その理由をともに考えてみてください。この「対話」が、私たちに新しい意味づけをもたらし、新しいアイディアへと導いてくれます。あなたのまわりの教員は、よろこんで手助けをしてくれるはずですよ。

よく学ぶこと、そのために体調をととのえること、ともに学ぶ友を得ること。この3つを心に留めてください。本学での生活が、たとえ厳しくとも楽しい日々となることを心から願っています。—

佐伯胖(1970)「『学び』の構造」、東洋館出版、東京。

新入生の皆さんへ



海洋工学部長
井 関 俊 夫

皆さん、ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルスの影響で入学式が中止となり、長期間の入構制限と登校自粛で、漠然とした不安が頭をもたげているのではないかと思います。敢えてこの機会に、お祝いの言葉を述べさせて頂きました。これから皆さんは東京海洋大学で勉強するにあたって、多くの教員や友人と出会い、刺激し合い、意識的あるいは無意識に、人生の方向性を決定していくことになります。感染症予防から対面授業が行われないことは、人との出会いという点からはマイナス要因となり得ますが、ZoomやWebexといった同時双方向通信が身近な存在となっている現在では、あまり悲観的になる必要はないと思います。これからの大学生活が爽り多く、そして皆さんが健康であるよう心から願っております。

現在、大学の教育方法が大きく変化しています。広範囲にICTが導入され、時間や場所にとらわれず、多くの講義を受けることができるようになりました。以前からICTを取り入れたアクティブラーニングや反転授業の有効性は話題となっていました。新型コロナウイルスの影響で、教育方法の改革が加速度的に進んでいます。国立情報学研究所「大学の情報環境のあり方検討会」によって「4月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム」が頻繁に開催され、教育分野を超えた教育のノウハウが共有されるようになってきました。成功例だけでなく、普通は表に出ないような失敗例も紹介され、全国の大学教育者が一丸となってこの難局を乗り越えようとしている姿に、私は深い感銘を受けました。東京海洋大学でも多様な知見と教育哲学を持った教員間で侃々諤々の議論が続き、ハードウェア上の種々の制約の下で、最大限の教育効果を生み出そうと、惜しみない努力が積み重ねられています。既に多くの科目を受講していることと思いますので、皆さんからの多くのフィードバックを期待しています。

頑張る



海洋資源環境学部長
田 中 祐 志

新緑のキャンパスは今、非常に空虚で鴉が鳴くばかりだ。日常への回復に取り掛かる時、従来の当たり前は通らず、今の力と備えでは太刀打ち出来ない難敵とも戦わざるを得ないであろう。困難に勝つには若者の力が必要だから、諸君は「頑張れ」、「役割を果たせ」などと励まされる。しかし、「頑張れと言われても、登校すら出来ない今、どうしろというのか？」と困惑する人もあるだろう。置かれた状況によっては苦しくて勉学どころではないかも知れない。しかし、焦る必要はない。学生である現在果たすべき役割は、社会に出るまでに力を付け活躍の基礎を固めることだ。「この非常時に自分も役に立ちたい」という気持ちは貴いが、打ちのめされた社会の再建を支えるため、今やるべきことを見極めなければならない。

「頑張る」とはどういうことか。「誰かに指図され我武者羅に突進を繰り返す」ことではない。「自ら目標を定め、そこに至るまで賢く且つ健かに努力を続ける」ことだ。無謀は自滅への道だ。障碍に阻まれた時、道具の刃を研いだり捻子を締めたりするだけであっさり突き抜けられるかもしれない。しかし、刃を研いだり捻子を締めたりする、という簡単な知識や技術すら習得していないと、その場で弊えてしまう。自らの頭で判断する訓練を怠っていると、悪意のある流言に踊らされる。

学生である今は、この先何十年に備えて知識を蓄え経験を重ねる時だ。理系の学生には、科学的な知識と技術、定量的で論理的な思考能力の習得が求められる。さらに、人として正しく生きて行くには古典を繙き教養を培う必要もある。偽装を見破る眼力と盲動を戒める知性とを備えるため、誰にも等しく与えられた4年間を大切に使い、入学までの勉強は試験で良い点を取るためだったかも知れない。強制されるのに慣れてしまった人もあるだろう。これからは、自らと社会のために自らの意思で行動してくれ。我々教員も頑張る。共に頑張ろう。

大学院へ入学・進学した皆さんへ



大学院海洋科学技術研究科長

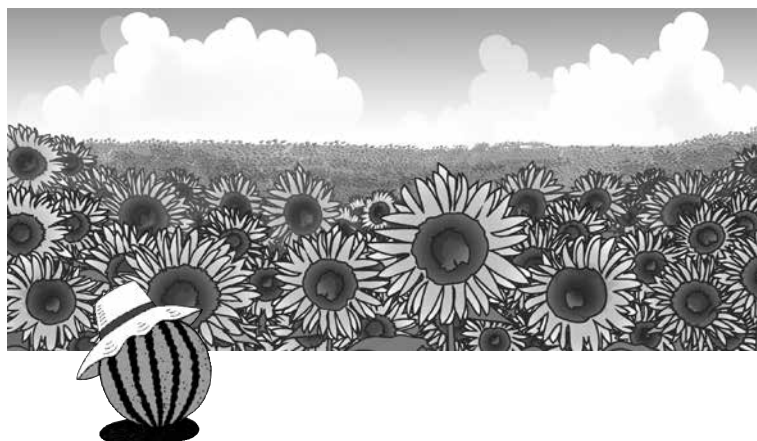
舞田正志

大学院へ入学・進学した皆さん。新学期を迎え、本来、希望に燃えて勉学に、研究に取り組もうとされていたことでしょう。しかし、COVID-19の蔓延により、入学式が中止になっただけではなく、入構自粛措置が取られ授業の開始、研究室での研究活動も制限され、感染症の終息の見通しが立たない中で経済的な問題を抱えたり、学修への不安や焦燥を感じる日々が続いていることと思います。新規感染症の世界的なパンデミックは、大きな社会的変革をもたらす可能性があります。それは大学での教育・研究でも同様であると認識しています。同時に、そこで学ぶ学生の皆さんも学修や研究への取組にあたり従来にない心構えが必要になることでしょう。

現在の状況は、これから皆さんが学修や研究に取り組む上で、また、社会に出ても直面することがありえることです。たとえば、予期せぬ問題が起こり、当初の計画通りにプロジェクトを進めることが困難に

なることがあります。限られた時間と様々な制約の下で、プロジェクトをゴールに導くためには何が必要かを考え、臨機応変に対応する柔軟性が必要です。本格的に従来の学習や研究活動が実施できるようになるまでの間は皆さんにとって、まさに、限られた時間と様々な制約の下で、プロジェクトをゴールに導く（ディプロマポリシーを達成する）ためには何が必要かを考えるために与えられた、貴重で重要な時間になると思います。遠隔による講義の実施も行われますが、いろいろな教材を自分で探し、自分の専門外の講義や幅広い知識に触れるチャンスでもあります。また、実験や実習などの実技を通してしか身に付けられないスキルがあることも事実ですが、ビデオ教材の視聴によって実験手技のイメージを持つことができるかもしれません。

今回の事態は皆さんにとって、「限られた時間と様々な制約の下で、プロジェクトをゴールに導く」という技術者、研究者に求められる能力の習得に従来の学修では得られない貴重な機会を与えられたものと考え、指導教員とともに、この困難を乗り越えていただければと切に希望しています。



2020年 出会い

入学特集

在學生から

新入生のみなさんへ

楽しい大学生活を

海洋生命科学部 海洋生物資源学科4年

松本龍介

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年度が始まってから、入学式をはじめとする多くのイベントが中止になり、授業すら一向に始まらず、漠然とした不安を抱えた中で春を迎えたのではないのでしょうか。こんな時だからこそ、深呼吸して落ち着いて、日々の生活を送ってください。

さて、3年前の4月に私はこの大学に入学しました。当時の私は後期試験で合格したこの大学で学ぶことにあまり意欲的になれずに、ただただ単位を取得するためだけに授業を受けていました。友人たちが楽しそうに授業を受けていたのを物珍し気に見ていたものです。今、私はゲノム科学研究室というところで楽しく過ごしています。それは、自分の興味の持てることがこの大学にもあることに気付いたからです。この気づきは、無気力に授業をうけていただけでは見つけることがで



研究対象のクルマエビ

きなかったものだと思います。少しでも居心地のいい場所を探し、もがいた結果だと考えています。

1年生の皆さんの中にもこの大学を選択してよかったのかな、と考えている人がいるかもしれません。その方は、あきらめずに少しだけでもがいてみてください。そうすれば、何かいい気づきがあるかもしれません。希望通りこの大学に進学できた方は、そこで満足することなく、夢が実現するように日々楽しんで学んでください。

皆さんの大学生活が楽しいものになりますように。

新入生の皆さんへ

海洋生命科学部 食品生産科学科4年

細川知芳

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため構内への立ち入り禁止や、遠隔授業の実施など、戸惑う事も多かったと思います。先の見えない不安に襲われている方もいらっしゃるでしょうが、希望を捨てず、我々ができることをできる限り行っていきましょう。

さて、私からは大学パートナーシップについて紹介させて頂こうと思います。大学パートナーシップとは、文化施設、つまり博物館や美術館の優待割引制度です。この制度により、常設展が入場無料になったり、特別展の入場料が割引になったりします。対象は国立科学博物館、東京国立近代美術館、国立西洋美術館や国立新美術館です。

私はもともと博物館めぐりが趣味だったこともあり、

この制度にはとてもお世話になっています。国立科学博物館は特別展で有名になる事も多いですが、何と言っても常設展のボリュームに圧倒されます。朝から晩まで丸一日かけても、全ての展示を見ることができないほど！日数と時間をかけて、じっくりじっくり見て学びたいからこそ、この制度にはとても助けられました。特別展もその時しか見られないものが展示されているので是非。私は先日ミイラ展へ行き、本物のミイラを間近に観察してきました。土葬され自然に死滅化したミイラの気候による色の違いや瑞々しさの違い、特殊な葉や処理を必要とせずとも防腐効果のある柿の種を食し自らミイラとなった本草学者や、即身仏など、科学的観点からも歴史的観点からも勉強になりました。

自由に使える時間が沢山ある大学生活、博物館や美術館を訪れ科学や歴史に触れてみるのも良いのではないのでしょうか。大学には他にも様々な制度があるので、上手に活用してみてくださいね。



国立科学博物館に展示されている縄文土器

新入生の皆さんへ

海洋生命科学部 海洋政策文化学科3年

小松 俊士郎

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響から、遠隔授業という形式になり、思い描いていた学生生活をスタートできず、歯がゆい毎日をご過ごしていると思います。しかし、コロナを乗り越えた先には、明るい未来が必ず待っています。それまでの間、できることを一緒に頑張りましょう。

私は、漁業、水産、生物の知識をほとんど持っていない

状況で入学しました。しかし、大学の学びは強制されるものや与えられるものではありません。講義は、自分の学習へのヒントのようなもので、取捨選択は自由です。それに気づいてからは、自分だけが持てる視点から、「海」を考えるようになりました。その結果、海洋観光、海洋文化に関心を持ちました。

そして、2年生の8月中旬から1月末まで台湾の台湾海洋大学へ交換留学をし、海洋観光について勉強しました。現地に行って初めて知ることが非常に多く、フィールドワークの重要性を強く感じました。留学は、学問的なものだけではなく、現地の人の風習、社会、文化を肌で感じることができます。海外で生活することで、今までになかったアイデアを生む創造力、想像力を養うことができます。海洋大は留学制度が非常に豊富なので、積極的に海外留学を検討してみてください。

留学を中心に述べましたが、留学は大学生活を充実させる一つの方法にすぎません。海洋大でしか受けられない講義や実習に参加することや、自分に合ったサークルに加入することなど、今しかできないことをたくさん経験してください。いずれにしても主体性をもって行動していれば、学生生活は自ずと豊かになると思います。皆さんが、思い出に残り、実のある学生生活を送れることを願っています。



新入生へ伝えたい事

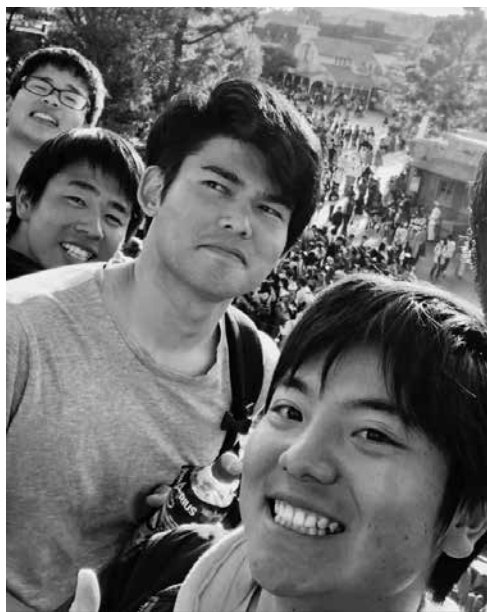
海洋工学部 海事システム工学科4年

宮城 健 杜

新入生の皆さん初めまして、海事システム工学科4年の宮城健杜です。私は、3年前に沖縄県から上京してきました。新入生の頃は、沖縄から東京に来るというギャップから様々な不安を抱えていました。しかし、

4月の富浦の宿泊オリエンテーションだったり、夏の乗船実習で同期の雰囲気があったり、友達もできやすいです。新入生の皆さんが、勉強やサークル、バイトなどをやり遂げていく環境が備わっている大学だと思います。

さて、大学三年間を終えた私から、新入生へ伝えたいことは、どんどん自分から積極的に挑戦して欲しいということです。大学生活は皆さんが思っているよりもかなり早く過ぎていきます。皆さんの中で、大学生活でこういうことに挑戦したいと考えている人がいたら、その気持ちを大事にしながら維持して、上京したらすぐにとりかかってほしいです。大学生は中学や高校と違い、いい意味でも悪い意味でも自由です。その自由を有効的に活用するかどうか皆さん次第です。これはありきたりで、皆さんも聞いたことあると思います。しかし、敢えて言うべきだと思うくらい大事なことだと思います。大学入学の時期に新型コロナウイルスの影響を大きく受けて、私の時よりも様々なことに不安を感じていることだと思います。しかし、こういう時こそ同じ海洋大学生としてできることをして、一緒に乗り越えましょう。皆さんに会える日を楽しみにしています。



手前から2番目が筆者

新入生の皆さんへ

海洋工学部 海洋電子機械工学科4年

米原 希

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学してから三か月、例年であれば新たな環境にも慣れ、

学生生活を満喫し始めるような時期ですが、皆さんはどうでしょうか。新型コロナウイルス感染症の影響により入学式が中止となってしまうたり、講義の開始日が遅れてしまったりと、例年通りにいかなかった事も多くありましたが、皆さんが学生生活に馴染めていれば嬉しく思います。

さて、皆さんは辛い受験勉強を乗り越え、それぞれの志をもってこの東京海洋大学に入学されたことだと思います。海や船について学びたいという思いをもって入学された方もいれば、そうでない方もいるでしょう。しかし、これからの学生生活で、誰もが海や船に関する実習を経験することになります。人によっては実習が辛く感じることもあるとは思いますが、ただ、実習がきっかけで海や船に興味をもつことができたり、実習を通して仲間とより深い関係を築くことができたりと、どの実習も皆さんにとってかけがえのない経験となるはずです。ぜひ、海洋大の学生生活を満喫してください。

最後に私から皆さんへ、わずかばかりですがアドバイスをさせてください。それは、時間を有効に活用し、やりたい事を存分にやってほしいということです。今まで三年間過ごしてきましたが、本当にあっという間でした。あの時あれをやっていればと後悔することもあります。大学では、自由な時間は大変多いです。ぜひ自由時間を有効に活用し、悔いの残らない学生生活にしてください。



乗船実習にて

在学生から新入生へ

海洋工学部 流通情報工学科3年

海谷 尊実

新入生の皆さん、海洋大へようこそ！

早速ですが、皆さんは今どのような目標を持っていますか。向上心や好奇心を持ち続けているのでしょうか。今年度は、感染症の影響で様々な催しや計画が中止・延期となり、なかなか前進できずにいる方も多いかもしれません。しかし、いつか戻ってくる貴重な日常に向けて、今できることは幾つもあります。この記事が、少しでもそのヒントになれば嬉しいです。

私は、入学当初から「海洋大ならではの」の取組みに挑戦してきました。もちろん、普通の授業から独自性で溢れていますが、さらに扉を開けてみると、そこには個性的で魅力的な世界が無限に広がっています。私は海事普及会と海王祭実行委員会に所属し、海事や海洋大をより多くの人々に知ってもらう活動をしています。また、海外探検隊という大学独自のプログラムに二回参加し、それぞれ中国（杭州・香港）とアイルランドで、企業研修や語学研修を受けました。これらの経験は、自分の漠然とした夢をより具体的で明確なものにしてくれただけでなく、その実現に向けてやるべきことの原動力となっています。

海洋大の良さは、高い専門性と小規模であることだと思います。教員との距離も近く、海外派遣等の留学のチャンスも沢山あります。今は思い立ったらすぐに実践することが難しいかもしれませんが、そのための準備はできます。この準備も実践の一部です。

ぜひ皆さんも進取果敢に、充実した大学生活を送ってください。陰ながら応援しています。



第12期海外探検隊 現地報告会（著者は右から4番目）

経験の蓄積

海洋資源環境学部 海洋環境科学科4年

八色 梨香子

新入生の皆様、合格並びにご入学おめでとうございます。私が新入生の皆様にお勧めしたいのは、実習・

実習や大学生活を通して様々な経験を肌で感じてほしいということです。

フレッシュマンセミナーや一ヶ月乗船実習などは聞いたことがあるかもしれませんが、海洋大には学部や学科ごとに様々な実習が用意されています。実習や授業の分野に関わらず、実習で得た経験が後の講義や課題で重要になることは多くあります。シラバスを読んだだけではイメージしづらい部分もあると思いますが、時間や資金など余裕がある際は様々な実習に興味を持って見てみてほしいと思います。

また、大学内の博物館、図書館や学生証の提示により無料で利用出来る施設なども是非足を運んでみてほしいと思います。本校の博物館一階の捕鯨船についての展示を見てから体育館近くに展示されている雲鷹丸を見ると、また違った印象を受けるかもしれません。

過去の実習や訪れた施設などの写真を眺めていると、現場で実際に手に触れながら学んだことや感じたこと、苦労したことなどは数年経った今でも思い出されます。高校までとは異なり、大学での授業では自分の考えや提案をレポートや発表という形で求められることも多くなります。その際に、過去の経験から得られたこと、感じたことは“自分の考え”を支える要素の重要な引出しになりました。幅広い経験を得ることは将来の研究室選びや就職活動にも繋がっていくと思います。

前例のない情勢の中、一日も早く皆様が不安の無い大学生活を送れるよう願っております。



乗船実習Ⅱにて桂浜見学の様子

新入生の皆さんへ

海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科4年

唐澤卓朗

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。5月現在、コロナウィルスの影響で大学の登校自粛が続いており、新入生の皆さんとお会いできていないことを残念に思います。このような時ですが、私から皆さ

んに簡単なアドバイスを送らせていただきたいと思います。

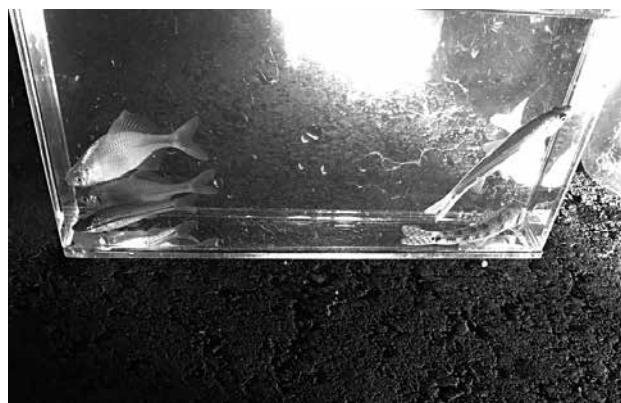
皆さんは、「私には無理だ」と感じて、新しいことを始められなかった、そんな経験はないでしょうか。もしあるとしたら、それはとてももったいないことだと思います。

というのも、私は大学に入学してからしばらくの間、やりたいことがないという理由で時間を無駄にし、物事を始めるきっかけを逃したことをとても後悔しているからです。皆さんには、このような思いをして欲しくないと思います。

私が皆さんにお伝えしたいのは、少しでも興味があるなら、勉強、サークル、バイト、趣味、なんでもやってみるということです。もしやってみて、それが自分に合わず辞めてしまっても、きっと無駄にはなりません。私は、やってみたかったバイトやサークル活動に参加して、やりたいことに会うことができました。

もし、皆さんの中に興味のあることも分からないという方がいたら、ひとまず大学の実習などに参加してみたいかどうでしょうか。特にエネルギー学科は、先生方が海外研修や研究会などの学びの機会を設けてくださっています。

皆さんの大学生活が充実したものになることを心から祈っております。頑張ってください。



サークル活動中に会った淡水魚たち

新入生の皆さんへ

大学院海洋科学技術研究科 食品流通安全管理専攻2年

藤野 柁也

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学早々、新型コロナウイルス流行により、大変な大学生活のスタートになってしまいましたね。

突然ですが、皆さんに質問があります。一年前の自分と今の自分、どれだけ成長しましたか？答えは人そ

れぞれだと思いますが、「一年間で色々なことを経験したな」と思ったのではないのでしょうか。

私は五年前、東京海洋大学に入学し、五年間で多くのことを経験しました。しかし、就職活動で私自身の大学生活を振り返った際に、多くの時間を無駄にしまった、もっと知見を広げて成長できた、と後悔しました。皆さんには、そういった後悔をしてほしくないと思います。

大学生活は長いようで非常に短いです。年齢を重ねるごとに月日は早く経っていきます。未だに、昨日まで高校生だったのに、とすら思えてしまいます。大学生活はそのような非常に短い時間しかありませんが、「人生の夏休み」と表現されることがあるように、とても自由で、多くのことを経験できる、唯一無二の時間です。皆さんには、その唯一無二の時間に多くのことを経験してほしいと思います。このようなことは多くの人に言われると思いますが、多くの人が言うということとはそれだけ大事ということです。

一年後、自分自身に聞いてみてください。「一年前の自分と今の自分、どれだけ成長できた？」もし、「微妙かな…」と思ったら、次の一年はもっと良くなるように努めてみてください。最高に充実した大学生活を送ることができると思いますよ。



学会発表で訪れた宮城大学外観

新入生の皆さんへ

品川キャンパス自治委員会委員長
海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科3年

大間知 卓武

新入生の皆さん、こんにちは。自治委員会委員長の大間知卓武です。

新入生の皆さんが入学してから2ヶ月が経とうとし

ています。しかし、新型コロナウイルスの脅威によって皆さんとお会いすることができず、在校生一同心を痛めています。皆さんも新たな学友と話す機会もないまま一人で放り出されて不安を感じていることでしょう。そんな時は、気軽にSNSで先輩に質問したり、メールで教授や学生生活係に相談してみてください。きっと親身に耳を傾けてくれるはずですよ。自治委員会でもTwitterやメールにて皆さんからの質問を受け付けています。

ウイルスの流行を乗り越えれば、いよいよ本当のキャンパスライフが始まります。講義、サークル活動、アルバイトなどで忙しくなることでしょう。入学当初の私も新しい生活に戸惑ってばかりでした。しかし、まだ皆さんには時間があります。新生活が始まる前に多くの時間があることはむしろチャンスであると思います。いざ学校が再開したときに忙殺されぬよう、この時間を有意義に使ってください。何か新しいことを始めるのもいいかもしれませんね。今はできることは制限されていますが、できることをやっていきましょう。その経験が、いつか思いがけないところで役に立つようになります。

未来の自分の糧となるような、素敵な4年間を過ごしてください。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

おうち時間のすすめ

海鷹祭実行委員会委員長
海洋生命科学部 海洋生物資源学科3年

津山 透

新入生の皆さん、こんにちは。海鷹祭実行委員会委員長の津山透です。今年度前期は、昨今の情勢から、オンライン授業を行うことが決定し、新入生の皆さんも同級生や先輩と直接顔を合わせる機会が当分なくなってしまい、残念な気持ちだと思いますが、この事態が収まるまでは我慢し、また晴れやかな気持ちで会えることを、私たち在校生も楽しみにしています。

私からは、自宅での過ごし方についてお話させていただきます。現在、オンライン授業を受ける場合も自宅という環境で、だらけてしまう心配があると思います。そのような時こそ、自宅の過ごし方が重要であると考えています。私は現在、オンライン授業になることが決定し、往復3時間の通学時間が無くなったため、その時間を使い、資格の勉強を始めています。大学生の今だからこそできる学びが、きっとあると思います。将

来のビジョンがある人はその勉強を、まだ曖昧な人は見つける時間を設けることもとても良いと思います。カブの値段を気にする事より、自分のおうち時間、見直してはいかがでしょうか？

新入生の皆さんへ

海洋工学部学生会事務局長
海洋工学部 海洋電子機械工学科4年

阿久津 惟斗

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。上級生として皆さんのご入学を心より歓迎申し上げます。大学へとご入学させた皆さんの中にはこの大学で学びたいことがあってこられた方もいれば、何かやりたいことがあってきた方など様々な思いを持って大学へ来られたことかと思います。

私から皆さんに今回お伝えしたいことは大学で多くのことを学んで欲しいということです。

大学ではこれまで学んできたことの応用版として専門的な、または特化したことを学んでいきます。しかし、大学での学びは良くも悪くも自由な場合が多いです。勉強の仕方や履修選択も受動的ではなく能動的に知識を身につけることも増えると思います。後々に勉強していなかったことで後悔することがないように学んだことが自身の力になるように積極的に勉強してほしいと思います。

また、大学生活では勉強だけではなくサークル活動やアルバイトまたは実習など様々なことをやっていくと思います。これらは教訓や今後社会に出るときに役立つようなことを学べる良い機会です。ぜひこの機会を有効活用して多くのことを学んで欲しいと思います。

今年は新型コロナウイルスの流行により授業開始が大幅に遅れたり、海洋実習がなくなったりと入学して間もないにも関わらず、多くの変化が起きて不安に感じていると思います。この混乱が早く収束し、皆さんが大学生活を通して多くのことを学べることを上級生として切に願っております。

2020年 出会い

入学特集

先輩留学生から
新入生のみなさんへ

Enjoy your college life(陶芸体験)

大学院海洋科学技術研究科 応用生命科学専攻2年
馬 慶 保

I am honor to be here to share some experience to our dear schoolmates. This is my fourth year in TUMSAT. Thank you very much to my supervisor Prof. Hagiwara and Japan-China-Korea (JCK) program for giving me the opportunity to study and live here. It has been ten years since I started college in 2010. Here I want to share some experience with you hoping you can enjoy your college life better.

First of all, I think everyone has something they like to do. Some people like comics, some people like sports, and some people like music and so on. Yes, hobbies are very important, because hobbies not only make you happy, but also help you find a group of like-minded friends, and these friends may become friends for life. You have a lot of choices in our university; there are dozens of interest groups for you to choose, such as karate, diving, softball, etc. You can add one or two you are interested in.

In addition, I also have a suggestion having the habit of maintaining doing some exercise. On our university, there are sports grounds and fitness room. Keep exercising a few times a week. I believe your college life will be more exciting.

Furthermore, I think bravery and confidence are also very important. Moreover, don't be too shy; don't pay too much attention to other people's view. Believe in yourself, believe in your judgment, and express your thoughts boldly.

In the end, I sincerely wish that all new members of our university can quickly adapt to university life, find their friends, learn what they are interested in and enjoy your college life.



研究室のゼミ旅行の陶芸体験（筆者は前列左端）

学科の特色ある実習の紹介



海洋政策文化学科

海洋政策文化学部門 教授

佐々木 剛

海洋政策文化学科では、政策的、産業的、文化的アプローチにより、「海・人・社会」の望ましい関係の在り方について考え課題解決できる人材の育成を目指しています。そのため、理系・文系の垣根をこえたカリキュラム編成を行い、実践的で特徴的な実験・演習・実習・調査を実施します。

1年生

フレッシュマンセミナー：水産、海洋に関する基礎的な知識を基に、事前・事後学習、現地調査、報告書作成をグループ内での協働作業によって行います。

海洋政策演習：海洋政策調査研究の基礎的スキルを習得することを目標とし、行政機関・漁業組織・教育団体・博物館など現場を訪問。インタビューや参与観察など

をとおした実地調査を行います。

2年生

水産調査：漁業および水産業をめぐる地域コミュニティの在り方について理解を深めるため、全国の関連機関を訪問し、課題設定、検証方法を考え意見交換を交えながらレポートを作成します。

マリンスポーツ実習：毎年9月に慶良間諸島の国立青年の家のキャンプ場にてキャンプ生活を送りながらマリンスポーツを実際に体験し、インストラクション、安全管理等について学びます。

水圏環境教育学実習：東京湾浜離宮周辺を拠点として、地元企業や地域住民とともにさまざまな立場の人が協働するための水圏環境教育プログラムを企画し実践を行います。

資源生物学実験：魚類、貝類、頭足類、節足動物等の水産資源生物の生態や資源量を分析するにあたって必要となる基礎データの測定方法と分析方法を修得します。

このような多岐にわたる実践的な学びを通し、人間活動の実相としての海洋文化と海洋政策について理解



水圏環境教育学実習（浜離宮外堀にて）

を深めます。

3年生

海洋政策実習：海洋政策にかかわる仕事が行われる現場を訪問し、知見を深める。2020年度はODA(政府開発援助)を担う海外漁業協力財団の訪問を予定。

沿岸地域社会調査：沿岸資源環境に依拠して成立する沿岸地域の持続可能性を考察することを目的とし、この授業では、履修学生が協同で沿岸地域におけるイン

タビュー調査を実施します。

漁村フィールドワーク実習：産地漁村、漁協、市場等の現場を直接訪問し、漁業者、流通加工業者、団体、試験研究機関、行政当局等から聞き取り調査を実施し、レポートにまとめます。

水圏環境コミュニケーション学実習：東北の流域圏をフィールド対象とし、源流域探索、トレッキング、水生生物調査、体験ツーリング、料理体験等を組み合わせた水圏環境教育プログラムを作成します。

流通情報システム

流通情報工学部門 助教
麻生敏正

流通情報工学科は、国立大学で唯一、『流通』の工学的な教育・研究を行っています。皆さんは、流通と聞いて何を思い浮かべますか。小売(例えば、スーパーマーケット)や卸売(例えば、魚市場)といった流通業、トラックや船舶等の物流業、オンラインショッピングを想像した方が多いのではないのでしょうか。しかし、流通はこれだけではありません。

一般的に、流通は物的流通(物流)と商取引流通(商流)に分けて議論されます。簡単に言えば、物流は物の流れ、商流はお金の流れです。物流や商流は、施設だけでなく、企業や国を越えます。もしすべての利用者が費用・時間・品質に無頓着であれば、流通は簡単ですが、現実には『安価、迅速、高品質』が求められます。これらの要求は近年高まる一方で、流通を支援する情報システムはま

ずますます重要になっています。

そこで『流通情報システム』では、まず基本となるシステム思考について講義します。次に、企業間の発注や決済を行うシステム(EDIやBMS)、商品データや在庫データといった経営に直結するビッグデータと、そのデータベースについて説明します。また、店舗や物流施設で利用されるIoTといったセンシング技術・ネットワーク技術、分析のためのAI技術、自動運転に代表されるITSについてお話しします。さらに、流通業の第一線で活躍されている実務者の講演を通し、企業における流通の重要性について理解を深めます。

流通に関係しない企業はありません。しかし企業が違えば、利用する情報システムが変わり、施設が変われば、求められる機能も変わります。大変だと思えますが、本講義までに皆さんが将来働きたい業界を絞り、ご自身の将来を想像しながら講義に参加してください。そして将来、皆さんがリーダーとなり、ロボットやITが得意な他大学・他学科の学生と、持続可能な流通システムの構築に挑戦していただくと大変嬉しいです。



IoTデバイスの一例

実習感想記



実習感想記

海洋生命科学部 海洋生物資源学科4年

佐藤 鷹生

海洋生物資源学科の三年次に行われる、応用藻類額実習について紹介をします。

この実習では、企業見学、坂田の実習場における藻場の環境観測および植生調査、海藻培養、スノーケリング、植食動物の解剖、そして藻場の俯瞰に用いられるドローンの体験などが行われました。五日間という決して長くはない期間の中で多くの体験ができ、非常に貴重な時間を過ごすことができました。

私がこの実習を受けて特によかったと感じる点は、大きく二つあります。

一つは、普段行う座学では触れられない体験をすることができることです。実際にフィールドワークで計測や調査を行い、データを収集して整理、資料をまとめて発表を行うという一連の経験は貴重なものとなりました。また、短期間で集中した培養、観察も実習ならではの良い経験でした。

二つ目は、企業見学や夜に行われた懇親会で、多くの現場で働く方に話を伺うことができたことです。三年生の初めで進路について考え始めることが多くなる中、この実習で自分の将来への展望を広げることが



実習で採集した藻類

きました。

海洋生物資源学科では多くの実習があり、それぞれの実習で異なる分野の技術を学ぶことができます。また、主導している研究室の先輩や教授にもよく話を聞くことができるとても良い機会になり、多くのものを得ることができます。応用藻類学実習もそのような数ある実習の一つではありますが、自信をもって履修をすすめることのできる実習です。

実習感想記

海洋生命科学部 食品生産科学科4年

高木 紗希

食品生産科学科では、1年生でフレッシュマンセミナー、2年生で食品生産システム調査、3年生で食品生産学実習がおこなわれます。私からは、この3つの実習についての思い出や感想を紹介します。

まず、1年生のフレッシュマンセミナーでは、とても海洋大らしい経験ができました。山梨の実習場に泊まり、ニジマスを手で捕まえたり、捌いたり、燻製をつくったりと、日常では体験できない経験をたくさんすることができ、入学してから改めて、自分は海洋大に入学したんだなと実感した瞬間でもありました。私にとってこの実習のすべてが初めての経験で戸惑うこともありましたが、学科の友達と協力して楽しく学べる機会となりました。

次に、2年生の食品生産システム調査では、静岡県の主に焼津市にある工場を見学しました。3日間で合計8ヶ所を見学し、常に脳がフル活動していたのが印象的です。飲料やレトルト食品、出汁、油など食にまつわる様々な内容で、どこを見学してもとても興味深く楽しかったです。この実習は参加自由ですが、ぜひ参加してほしいと思います。

最後に、3年生の食品生産学実習(ツナ缶とレトルト

カレーの製造実習)では、マグロを捌くことやカレーの具材を切るところから主に手作業で作りました。出来上がった製品を持ち帰って食べたのですが、思ったより美味しかったです。作業自体は大変なことも多かったのですが、友達と協力して作業することができ、学科の友達との最後の実習だったためとてもいい思い出となりました。

海洋大だからこそ経験できる実習を、ぜひ楽しんでください！

実習感想記

海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科4年

清水良弥

海洋資源エネルギー学科では、海洋資源の観測・利用について、フィールドに出て学ぶ事ができる実習が用意されています。今回は、3年次に行われる海洋資源エネルギー学実習Ⅱについて紹介します。海洋資源エネルギー学実習Ⅱは、練習船「神鷹丸」に乗船し、海底資源探査等に用いられる観測・探査法についての基本技術を学ぶことができる実習です。6月に行われた本実習では、伊豆大島近海に存在する海底火山を対象に、地震探査のデータ取得・解析法、測図法(GMT)を用いたマップの作成、音響測深機を用いた海中探査、CTDを利用した化学センシング技術の基礎、ドレッジによる海底の試料採取法などを学びました。私が特に熱中したのは、反射法地震探査を利用した実習です。観測機器の基礎を学びつつ、得られたデータから海底構造を推定するだけでなく、より鮮明なデータを得るための工夫を求められました。私のグループでは、海穴の底までのデータを得ることができず、データの解析に苦戦しました。また、CTDなど他の実習データと比較を行うことで、データの信用性を検討し、構造の推定を行いました。この実習は、学科として行う実習航海としては初のものでした。船内生活では、掃除・食事当番などを分担して行うことから規律ある集団生活を



過ごすと同時に、居室にて同期の仲間と話をしたりトランプをしたりと、リフレッシュしながら過ごす事で大変刺激のある実習となりました。

実習感想記

海洋工学部 海事システム工学科3年

岡田七星

乗船実習は、この大学でしか経験できないことの1つと考えており、学ぶことに溢れた充実した日々を過ごすことができました。海は気象・海象の影響を常に受け続けるため、航海当直に入るたび、船外の景色を見るたびに、新たな景色を見ることができます。常に変化する自然の中で、最適な航海を見分けていく力は経験によって培われると感じました。実習中、様々な状況下での当直に入りましたが、私は狭視界状態での航海が最も印象に残っています。四方を霧に包まれ、レーダーに映る船舶を視認することができないという状況に恐怖を感じました。迫り来る霧により、次第に先が見えなくなっていく様子は今でも鮮明に覚えています。このようなとき、早い時期から他船と連絡を取り合うことが衝突回避や、自分自身の安心感にも繋がれることを、身をもって体感しました。

私は1、2年で計2ヶ月間の乗船実習を行いました。実習を終えるたびに、4年間ずっと乗船実習だったらいいのに、と感じます。危険と隣り合わせの船上生活は、楽しいことばかりではなく、精神的・体力的にきついことや失敗もたくさんありました。しかし、これらは成長のためには必要不可欠であり、これらを経験するからこそ実習が充実するということがわかりました。



下船日に神戸港にて撮影、筆者右

次の実習がより質の高い実習となるために、将来の生活のためにも、日頃から積極的に学ぶ姿勢を忘れず、今できることを確実に行っていきたいと考えています。

実習感想記

海洋工学部 海洋電子機械工学科4年

栗原 礼子

乗船実習とは、船の運航を通じてエンジンをはじめとした構成機器について学ぶ実習です。

一年目は機関・航海の両方を。二年目からはそれぞれの専門に深く潜ります。私が所属する機関科は、エンジンから冷凍機まで幅広く学びます。加えて共同生活を通じて、規律を守る精神も養われます。

私は入学当時、船といえばマグロ漁、という印象を持つような学生でしたが、先輩方や教官に教わることで、船への理解が深まりました。ちなみに機関科は熱交換器から学び始めるのがおすすめです。水の系統の理解に役立ちますし、なにより涼しいので。

乗船実習で一番印象に残っているのは「自分の価値観が全てではない」ということです。

船には様々な方がいます。一度陸に就職してから再び船を目指す人、あるいは船乗り一家で育った人などなど…。それぞれの個性や価値観があり、自分の固定観念を覆されました。また、私が乗った青雲丸には、海技教育機構のほかに船会社から来ている教官がいました。たまに聞く社船のお話はとても面白かったです。

この乗船実習の魅力は、座学では決して得られない体験をできることだと思います。各港・観光地に行けることや、機関室の実習はもちろんのこと、社会人の



社船からの教官との一枚（筆者右）

方や他校の学生と、ここまで密に話せる機会は、他大学にはできないことです。

これから実習に向かう方は、この乗船実習をぜひ自分の世界を広げるチャンスにしてください。

流通情報工学実験

海洋工学部 流通情報工学科3年

濱 芙美花

2年生で1番楽しかった授業は流通情報工学実験です。この授業では、2つの実験を行いました。1つは「物流システムに係る自動認識技術の作業効率性の実験」です。この実験では、商品コードの入力について、キー・バーコードとRFIDの比較を行い、それぞれのメリットとデメリットを考え、作業効率性の違いについて知ることができました。特に驚いたことは、RFIDを利用したほうが約20秒早く商品コードを認識できたことです。たった20秒と思うかもしれませんが、作業回数が多ければ、無視できない時間になります。もし小売業でRFIDの導入が進めば、回転効率が上がり、レジ待ちの時間が減ります。私は、多くの人の負担が減るストレスフリーな世界を想像し、物流の未来にわくわくしました。

もう一つは、「GPSの測位誤差に関する実験」です。このテーマは班で相談し、決めました。この実験の目的は、スマートフォンに内蔵されているGPS受信機を用いて、遮蔽物の有無による測位誤差の違いを求め、GPSについて理解を深めることです。実験を通してGPSの誤差の程度を理解し、さらに物流業界における応用事例をいろいろ考えました。私は、GPSに大きな可能性を感じました。

これまで主体的に物流について深く考えたことがありませんでしたが、この授業を通して、物流に関する知識を学ぶことができました。そして、物流をより身



実験器具の一例

近に感じる事ができ、物流に関する興味がさらに深まりました。

臨海生物学実習

海洋資源環境学部 海洋環境科学科4年

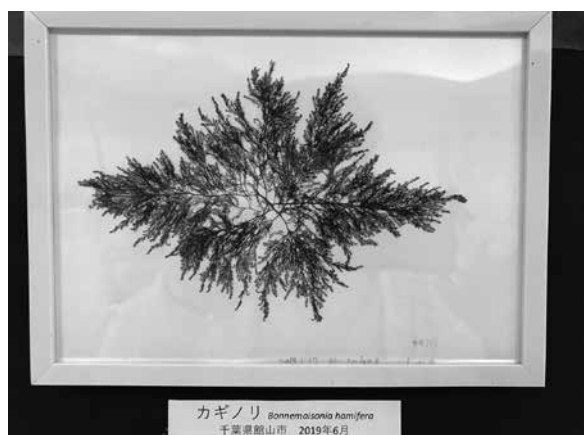
北野 瑞生

「世界で一番生物が多様な場所はどこですか？」こんな質問をされたとして、この問いに対する考えはこの実習に参加する前と後で大きく変わるだろう。そんな実習であった。場所は本学の館山ステーション。東京湾の入り口である洲崎灯台のほど近くに位置し、眼前には砂浜と磯場が広がる。年によって内容は若干変わるようだが、今回は海藻類と無脊椎動物が対象であった。

前半の2日間は海藻類について学んだ。胴長を着て海に入り、磯場で目につく海藻をひたすら採り、その標本を作ったり、コドラートを用いて海藻類の棲み分けについての考察を行ったりした。海藻と言われるとどうしても地味なイメージが先行してしまうが、初夏の磯は色とりどりで様々な形の海藻がひしめくように繁茂しており、その様子は大変楽しかった。

後半の2日間は無脊椎動物について学んだ。初日は肉眼で容易に見ることができるマクロな生き物たちについて、翌日は海藻上や礫の隙間をすみかにするようなミクロな生き物たちについて採集と観察を行った。磯の動物たちは実に多様であり、分類における門の階級でもいくつかの門が出現する。環境ごとに色々な生き物を持つものがあり、また、着目するスケールによっても違う生き物が見えてくる。その多様性は無限を思わせるほどであった。

海洋環境科学科の学生であれば1年生のころから様々な海洋生物の分類や生態についての授業があるが、座学で学んだものに実際に見て触れるという経験は何に



実習で作った海藻標本のなかで筆者1番のお気に入りのカギノリ

も変えたい感動を与えてくれる。そういった意味でも大変充実した実習であった。

実習感想記

海洋生命科学部 海洋政策文化学科3年

工藤 有葉

私は、海洋政策文化学科で開講される「水産調査」について紹介させていただきます。

この実習は、水産業をめぐる多様な地域コミュニティの在り方について、各自が課題・仮説を設定し、関連機関の訪問及び聞き取り調査を行うことで、漁業や伝統文化などに関する理解を深めるためのプログラムです。

昨年度は、新潟県糸魚川市に訪問しました。現地では、漁師の方々にお話を伺い、漁船に乗せていただいたり、地元漁協自営の水産加工場やせりの見学、海洋高校の施設見学をさせていただいたり、普段ではなかなかできない体験ができました。私は、事前の調査をもとに設定していた、地元漁協の水産加工業が抱える課題についての調査・ヒアリングを通して、「水産加工品の更なる販路拡大のためには、漁協自営の加工場という強みを生かしながら、取引先や外部の加工業者、海洋高校など、周囲を巻き込んだ連携づくりと事業システムの構築が必要である」という結論を出しました。自分が疑問に感じていることを現場で働く方々に直接聞き、仲間と意見を共有して、拙いながらも自分の中で1つの結論を導き出したことは、この実習での大きな収穫であったように感じます。

海洋政策文化学科には、「海と人との共生関係の実現」をテーマに、他にも数多くの特色ある実習があります。今後も、実習でしか得ることのできない貴重な経験を通して、多角的な視野で、物事を見つめることのできる力を養いたいと考えています。



資格取得に向けて



海技士筆記試験の合格に向けて

海洋工学部 海洋電子機械工学科4年

齋藤 祐輔

本学で船乗りを目指すにあたって、海技士の筆記試験に合格しておくことは非常に重要です。

多くの船会社では入社までに2級海技士の筆記合格を求められますが、取得は早いに越したことはありません。実際、機関士を志望する多くの同級生は就職活動の頃までには2級を取得しており、はたまた1級まで合格している人もおります。

さて、機関の海技士試験についてですが、2級に関しては大学や練習船で学ぶ内容が多く出題されます。機関その1、その2の科目においては特に顕著で、内燃機関工学や補助機械工学など大学の講義の内容をしっかり理解していると参考書で学習するのがだいぶ楽になる印象です。おそらくほとんどの人はゼロから参考書を読むより大学の講義で基本を学んでから海技士の勉強をした方が効率よく勉強できると思うので、3年次4月や7月の試験から挑戦していくのがオーソドックスだと思います。

実際に私は就活前までの合格という目標を立て、7月から科目合格を重ねて2月の試験で全科目合格し、就活にギリギリですが間に合わせることができました。

また極端な例ですが、中には2月に全科目を受験して合格した友人や、10月に1級と2級を同時に受けて合計7科目合格した人もおります。

海技士受験にあたって周りの同級生と相談することもあるかもしれませんが、大事なことは周りに惑わされずに自分のペースを掴んで計画的に勉強し、余裕を持って受験することです。皆さん資格試験頑張ってください！



筆者、一番手前

学芸員資格の取得を目指して

海洋資源環境学部 海洋環境科学科4年

中森 美希

私は、学芸員資格取得を目指しています。そのため、学部3年次に博物館実習1を履修しました。実習では、マリンサイエンスミュージアムにて、受付業務や展示エリアの見回りを行いました。来館者からの、展示内容について質問に答えることもありました。実習が行われたのは、オープンキャンパスや海の日、海鷹祭といったイベント時でした。事前に、宣伝のためのポスターやパンフレットの作成も行いました。学芸員の仕事とはどのようなものを学ぶことができました。

私が実習を通して最も気になったのは、換気の面でした。当博物館は2階に展示が集中しており、実習生や来館者も密集していました。いわゆる三密状態でした。空気がとてもこもっており、少し気分が悪くなりました。他の実習生も空気が悪いことを気にしていました。夏場は人間が密集することで熱もこもり、蒸し暑かったです。理由はわかりませんが、冷房は下げられませんでした。この状態は、来館者にとっても展示物にとっても悪影響だと感じました。他の博物館においても、ほとんどが室内展示で、同じような状況を感じたことがあります。さらに、新型コロナウイルスが蔓延している昨今、博物館にも万全な感染対策が求められると思います。展示物にとっても来館者にとっても、安全で快適な環境を作るために、適切な換気設備の設置が必要だと考えました。

この実習での学びを生かし、今年は博物館実習2に挑戦したいです。実習2では、外部の博物館や水族館などに実習に行きます。したがって、より実践的に学芸員の仕事を知ることができる、貴重な機会です。コロナ問題が落ち着き、実習が行えることを信じながら、楽しみに待っています。



オランジュリー美術館にてモネの睡蓮と著者

大学での学び方

大学院で学べること



海洋生命資源科学専攻(博士前期課程)

海洋生物資源学部門 教授

濱 崎 活 幸

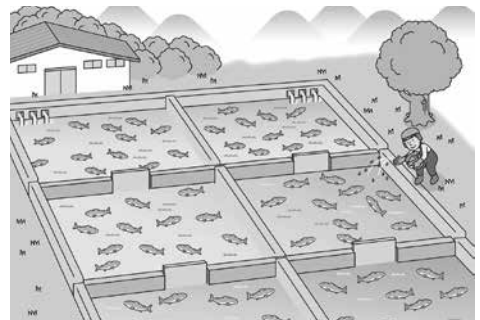
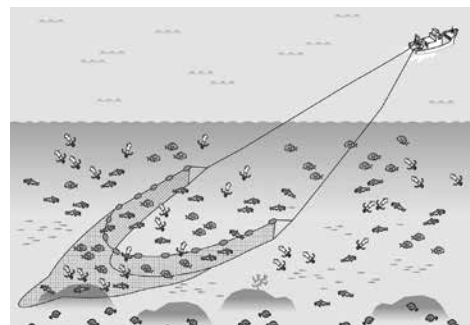
地球の人口は、2019年には77億人に達し、2100年頃には100億人を超えピークに達することが予想されています。これら増え続ける人々への良質なタンパク供給源として、魚介類・藻類、すなわち水産生物の生産増に期待が寄せられています。水産生物の生産体系には、大きくは、天然ものを獲って利用する漁業と人間がその生活史の一部あるいは全部を管理して利用する養殖があります。世界の漁業・養殖生産量は2億トンを超えていますが、漁業生産量は1980年後半から9000万トン程度で頭打ちとなっており、近年は養殖生産量が著しく伸びています。これら水産生物の生産体系のうち、漁業生産とは、我々が生態系から受けている恩恵、すなわち生態系サービスであり、その恩恵を持続的に受けていくためには、水産生物の再生産能力を超えないように、うまく漁業を管理する必要がありますし、ときには、水産生物の生息場そのものを改変あるいは修復するような取り組みも必要です。無論、生態系サービスの恩恵を受けるためには、それを支える生物多様性の保全が重要です。また、養殖産業のさらなる発展には、できるだけ地球環境に負荷をかけないような養殖技術の開発や人工種苗を用いた完全養殖技術の確立が求められています。

海洋生命資源科学専攻では、これら「水産生物の生産体系」に関わる諸現象について、基礎から応用まで幅広く教育研究を進めています。具体的には、海洋生物の生理・生態について生命科学としての学問体系の中で理解を深め、それら生物が海洋で生活できる特殊な仕組みの解明やその特徴を活用した生物資源の管理と保全、収穫システムや増養殖生産、環境修復や有益環境の創出等、生物生産に係わる総合的な高度利用に関する学理と技術を教育研究しています。専攻は13研究室（水族生理学、水族病理学、水族栄養学、水族養殖学、応用藻類学、集団生物学、増殖生態学、資源解

析学、魚群制御学、生産システム学、ゲノム科学、先端魚類防疫学、応用微生物学）に加え、国立研究開発法人水産研究・教育機構及び国立研究開発法人海洋研究開発機構との連携大学院講座5研究室（魚類生理機能学、水産生物機能学、応用資源動態学、水産資源生態学、深海生物学）から構成されています。

当専攻では、各研究室が行う講義を通じて、幅広い視点で「水産生物の生産体系」に関わる諸現象について理解し、考察する機会が提供されています。各研究室に所属する学生は、指導教員とのディスカッションや研究室のゼミを通じて、修士論文研究を計画し、実行していくこととなります。研究成果については、国内外の学会で発表する機会もあり、学術論文として公表され、生産現場やアカデミアへ貢献する場合も少なくありません。

せっかく、東京海洋大学という特色ある大学に入学されたのですから、学部1年や2年次からいろいろな研究室の門をたたいて、教員や先輩方からお話を聞いてください。きっと、学部の講義や実習・実験に対するモチベーションが上がるでしょう。



応用生命科学専攻(博士後期課程)

海洋生物資源学部門 教授

胡 夫 祥

「拓海」を読んでいる学生の中に、大学を出たら高度な技術専門職や研究者になりたい人は必ずいると思います。研究者になるためには、国内外を問わず多くの分野において、「博士」の学位を取得することが必要になります。博士の学位は大学を出て「プロ」の研究者として自立した研究活動を行っていくために必要な証明書とも言える存在です。東京海洋大学では、「博士」の学位を取得するための専攻として、大学院海洋科学技術研究科博士後期課程において、応用生命科学専攻と応用環境システム学専攻の二つの専攻があります。私の所属する応用生命科学専攻は応用生物科学、食品機能利用学と応用生物工学の3専攻分野に加えて、国立研究開発法人水産研究・教育機構および国立研究開発法人海洋研究開発機構との連携大学院講座の魚類生理機能学、応用資源動態学、水産資源生態学、深海生物学、水産生物機能学の五つの講座により構成されています。

22 応用生命科学専攻では、海洋生物の生理・生態・機能を総合的に解明し、海洋生物資源の確保・維持管理、安全かつ高品質の海洋生物資源の増産や、海洋生物の特異機能を応用した物質生産と次世代型機能性食品の創製など、海洋生物資源の持続的生産と高度な有効利用に応用するための先端的学理と技術開発を目指した教育・研究を行っています。具体的に、「応用生物科学」専攻分野では、海洋生物資源の持続的利用を目的として、生態系と環境との係わりを重視した海洋生物資源の確保・維持管理、安全かつ高品質の水産食資源の増産、海洋生物の特異機能を利用した有用物質生産等に関する先端的な教育研究を行っており、「食品機能利用学」専攻分野では、水産食品だけでなく他の食品一般にも適用可能な安全性評価システムの確立、安全性確保・向上技術の開発、安全かつ機能性に富む食品の設計技術の確立へ応用するための先端的学理と技術開発について教育研究を行っています。また、「応用生物工学」専攻分野では、バイオエンジニアリングやバイオテクノロジーの先端的技術を駆使して、安全な水産物を生産し流通するための養殖管理技術、魚介類有用遺伝子の機能解析とその応用に関するゲノムサイエンス、有用微生物の探索およびそれらの機能解析や応用などに

ついて教育研究を実施しています。

本専攻では、種々の異なる水圏環境に臨むフィールド教育研究センター、海鷹丸や神鷹丸など本学所有の練習船を利用した研究が多く行われており、また連携大学院で国立研究開発法人水産研究・教育機構の各研究所や国立研究開発法人海洋研究開発機構といった日本を代表する水産・海洋研究機関において博士後期課程を専攻することも可能です。さらに、学外の調査船や現場の商業船を利用した様々な幅広い水産海洋に関する研究を行うことができます。

本専攻の定員は1学年19名で、現在は休学者を含めて70名が在籍しています。入学者のうち半数以上が本学の博士前期課程からの進学者ですが、一度社会人となり社会人のまま博士の学位を目指している学生もいます。仕事をしながら博士の学位を取得するための研究が困難な場合では、長期履修制度を利用することもできます。また、本専攻には現在アジアを中心とした海外からの留学生が在籍学生の6割を占める40名在籍しており、グローバルな視点で水産と海洋に関わる課題に取り組んで、研究活動が行われています。

博士後期課程を修了し、博士の学位を取得された方は、教育・研究職と高度な専門知識を必要とする技術職に就く割合が高いと思います。そのような指導的な立場に立てる人材になるために、博士後期課程においてそれぞれの分野領域における課題を自分で見つけて、それを解決することのできる能力を身につけなければなりません。そのためには、まず学部生や博士前期課程のときに身に付けた知識を駆使し、解決すべき課題に関連する情報、既往の研究文献を収集し理解した上で、常に当該分野における研究動向を熟知する必要があります。次に、語学力を含めてコミュニケーション能力が求められますので、実験室に閉じこもるのではなく、インターンシップや研究集会に参加し、積極的に人との交流を心がける必要があります。さらに、研究者として研究成果を社会に発信する責務もありますので、学会発表や学術雑誌への投稿を積極的に行ってください。

博士後期課程の修学年限は3年ですが、「博士」の学位に相応しい研究成果を創出するハードルも高いので、必ずしも3年で修了できないかも知れませんが、貴重な時間と海洋大学の優れた研究環境をフル活用して多くのことを身に付けて、水産・海洋研究の将来を担う人材となることを目指してもらいたいと思います。

海洋資源環境学専攻(博士前期課程)

海洋資源エネルギー学部門 准教授

甘 糟 和 男

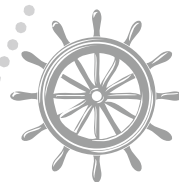
趣味はギター(ブルースからヘビーメタルまで)。「音」つながりで海洋音響学(特に水産音響学)という学問分野に入りました。何とも単純な動機なので、師匠の先生には「君は動機が不純だった」と今でも言われます(そう言う師匠もギターが趣味)。しかし、何かに興味を持つきっかけは、この程度で良いと私は思っています。ですから学生の皆さんには、研究に関係のない自身の趣味・趣向を大事にしてもらいたいと思っています。それが、大学院での研究テーマの策定や研究上のひらめきにつながるかもしれません(実際には指導教員に従いましょう)。

「学べること」ということで、少し私の研究内容を紹介します。イルカやクジラが見通しの悪い海の中で、どのように食べ物を探し、どのように仲間とコミュニケーションをとっているかわかりますか?それは音を使ってです。私の研究室では、魚や動物プランクトンといった海洋生物(とりわけ水産有用種)などを対象とした音波による水中センシング技術(どこに、何が、どのくらいいるか推定する)の開発と応用について、実験室とフィールドでの教育研究を行っています。本学の学生なら「魚探(魚群探知機)」という単語を聞いたことがあると思います。最も代表的な水中音響センシング機器の一つです。音波を出し、返ってきた音波(エコー)によって、生物の有無、距離などを知ることが

できます。最近では、調査用の魚探を使用した駿河湾のサクラエビの資源量調査手法の開発について取り組んでいます。サクラエビ資源の減少が懸念されており、どこに、どれだけいるか調べる必要があるわけです。魚探以外にも様々な機器がありますが基本的な動作原理は同じです。それらを総称してソナー (**SO**und **NA**avigation and **R**anging) と言います。海洋資源環境学専攻では「海洋音響計測学」という講義を担当し、海洋における調査研究や産業活動において不可欠な音響技術と機器について講義しています。

大学院で学べることは、専門的なことばかりではありません。例えば、論文の書き方。私の研究室でもまず初めに指導します。これは「修士論文を書くため」と思いがちですが、より広範な意味で文章を書くスキルが身につきます。いかにして、自身の考えを他人に理解してもらうか、そのスキルです。民間で働いたことのない私が偉そうなことは言えませんが、例えば、将来就職した会社でわかりやすい企画書の作成が行えるでしょう。研究発表の仕方と同じです。わかりやすいスライドの作り方、話の進め方、質問に対する答え方、これらも社会に出た際に必要となる基本的スキルです。研究を遂行することで思考力も身につくと思います。まず研究の背景を理解し、問題点を把握してどうやって解決するか、2年間の大学院での研究生活で幾度も壁にぶち当たることでしょう。それを乗り越えるたびに思考力が備わっていくはずです。大学院では4年生で卒論に取り組んだ時よりもさらに高度で普遍的なスキルを身につけることができます。





卒業論文・修士論文への 取り組み方

卒業論文への取り組み方

大学院海洋科学技術研究科 食機能保全科学専攻1年

伊藤尚登

私は、「麺類の茹で調理における塩分および水分の動態解析」というテーマで卒業論文に取り組みました。海洋にはあまり関係がありませんが、幼い頃から麺類が大好きな私にとっては、本学の校歌のように、“好きなことを好きなだけ”学ぶことができました。そんな、“倅せ者”の私から、卒業論文に取り組むにあたって、月並みですが、アドバイスを残させていただきます。

特に意識していたのは、自主的・自発的に考えて、とにかく実験を行うことです。研究は、学生実験のように、誰かが準備してくれるのではなく、全て自力で行わなければなりません。実験の前に念入りに準備をするよりも、安全面には配慮した上で失敗を繰り返し、その過程で改良を重ねるべきです。どんなに失敗を重

ねても、実験している人の方が、周囲からの助けも得られ、最終的に、早く、良い結果に辿り着くと思います。また、指導教官や、研究室のメンバーと共に研究について考え、異なった視点から自分の考え方や手法を見直すことは大切です。ただ、指導教官に積極的に質問するのは大事ですが、まったく考えなしに指示だけ仰ぐのはやめましょう。指導教官は、先生でもあり、共同研究者です。同じレベルで会話できるように、論文や図書に触れ、自説を持った上で質問すると、良いコミュニケーションが図れると思います。

卒業論文を書くのは、簡単ではありませんが、苦しいことではないと思います。卒論生の皆さんが、ぜひこの1年頑張って、来年振り返った時に、“倅せ者”だったなあと思えることを願っています。



卒業論文への取り組み方

大学院海洋科学技術研究科 海運ロジスティクス専攻1年

小島寛輝

卒業研究を行い、卒業論文を執筆することは、多くの人にとって初めての挑戦だと思います。そこで本稿では、私の経験を通し、卒業研究を進める上で、大切だと感じた二つのことを紹介致します。

まず一つ目は、指導教員との相談や、ゼミにおける進捗状況の報告を、定期的に行うことです。研究活動は、主体的に進めていくことが前提になりますが、決して一人で行うものではありません。順調に研究活動を進めるためには、定期的、そして多くの人に自分の研究状況を知ってもらうことが大切です。そして、研究活動に行き詰まっている時は特に、彼らから積極的に



研究室のメンバー、画像中央が筆者

助言を仰ぐようにして下さい。

二つ目は、根を詰めすぎないことです。研究活動を順調に進めていくためには、毎日大学に足を運び、研究活動を地道に続けていくことが大切になります。時には、寝る間を惜しんで、一日中研究活動に没頭する時間も必要になります。しかし、順調に研究活動を進めるためには、心身を休めることも大切です。休息の時間を意図的に取ることにより、頭の中が整理され、新たな考えや、分析を行う上での解決策が浮かび上がることもあります。研究活動に行き詰まった時にこそ、勇気を出して、休むのも良いかも知れません。

本稿では、卒業研究を進める上で、大切だと感じた二つのことを紹介致しました。卒業論文は、4年間の集大成とも言えます。本稿が、少しでも皆様のお役に立ち、素晴らしい集大成を飾れることを祈っています。



卒業研究に用いたノートパソコンとファイル

修士論文への取り組み方

大学院海洋科学技術研究科 応用生命科学専攻2年

上村 萌佳

修士論文は博士前期課程修了のために執筆しなくてはならないものであり、学術的意義、新規性、独創性、応用的価値が求められます。修士論文は1つの研究テーマで卒業論文を3~4本書くイメージであると教わりました。修士課程では研究テーマ決め、研究計画立案、



実験、データ解析、学会発表、修士論文作成と、研究に費やす時間は多くなりますが、2年間は瞬く間に過ぎていきます。ここでは私が修士論文に取り組んだ際に重要であると感じた3つの項目について述べたいと思います。

1つ目は、2年間の研究計画の立案です。研究テーマ決定後、実験データの取得に必要な期間を考え、各実験を終わらせる大体の期限を設定します。まとめる際にデータがないと焦らずに済むように、必要なデータを計画的に揃えていくことが大切です。

2つ目は、明確な研究目的の設定とそれに沿った研究結果の獲得です。研究目的が定まると、適切な実験やデータ解析方法の選択がしやすくなります。実験で失敗することもあります。研究結果を得るため、貪欲に調べて試行錯誤することが重要です。研究データの積み重ねが、多角的でより良い考察を生み出します。

3つ目は周りの方々との活発な議論です。高度な技術と知識を有する指導教員等の多くの方々との議論は、新しい打開策の発見や、考察を深めることができ、修士論文の質の向上に繋がります。

修士論文作成では壁にぶつかることも多々あると思いますが、論文作成過程で学んだことは社会生活においてもきっと役に立つことだと思いますので、頑張ってください。本稿が皆様の修士論文作成の一助となれば幸いです。

卒業生より

業界で活躍している OB・OGの方々

海洋政策という新たな世界で

2014年3月：海洋科学部海洋生物資源学科卒業
2017年9月：プリティッシュコロンビア大学海洋漁業研究院修了
2017年10月：笹川平和財団海洋政策研究所入団

藤井 巖

私は現在、笹川平和財団海洋政策研究所で海洋政策研究事業に携わっています。大学では定置網の海亀脱出装置、大学院ではサンゴ礁保全をテーマに研究しましたが、いずれも実験やフィールド調査、プログラミングによるデータ分析等、「文系的」な仕事とは無縁のものでした。しかし、大学院在籍中にお世話になった先生から海洋政策研究所のことを知り、現在の職場に就職しました。文系的とはいえ、政策を取巻く情報をデータとして収集し、そのデータに基づいて仮説を立て、現在必要な政策は何かということ进行分析していく必要があります。この点については文理共通していることを、日々感じています。

前置きが長くなりましたが、海洋政策研究所は海洋政

策に特化した日本で唯一のシンクタンクとして、様々な研究事業を行っています。その分野は気候変動から海洋安全保障と多岐にわたりますが、私は主に「公海域の生物多様性」と「違法・無報告・無規制（IUU）漁業」をテーマに、研究事業に携わっています。公海域の生物多様性については、現在国連で「公海域の生物多様性（BBNJ）の保全と持続的な利用に関する条約」を策定すべく、各国が議論を進めています。議論の題目の一つに「能力構築・海洋技術移転」がありますが、新条約履行のために能力構築の義務化を求める途上国と、それに難色を示す先進国とで議論が平行線をたどっています。そこで海洋政策研究所では、国内外の能力構築の事例（特に海洋分野）を収集し現状の分析を行いました。これをもとに各国に情報提供を行い、今後国際社会が求められる議論について提言を行う準備を進めているところです。

IUU漁業については、世界の水産物の最大1/3近くがIUU漁業由来との推定もありますが、これを撲滅するための動きが世界中で起きています。特に、港に揚がってくる漁獲物がIUU漁業由来でないこと、また、市場に入



FAO国際漁業シンポジウムに参加した時の様子
(写真提供：笹川平和財団)



ってくる水産物がIUU漁業由来でないことを確かなものにするため、漁獲証明制度等の議論が日本国内でも高まっています。海洋政策研究所では少し視点を変え、「IUU漁船の監視・取締」の観点から、IUU漁業撲滅のためにどのような提言が必要であるかを、関係者と議論しています。日本を含むアジアや太平洋各国のIUU漁業の現状を調査していく中で、国境を越えて操業を行うIUU漁船を監視するには、多国間協力の枠組みが必要であるとの考えが出てきました。現在は協力枠組提言に向けて、現実的かつ必要とされる提言内容とは何かを模索しているところです。

私は現在の職場で、海洋政策研究の意義を伝えていくことを最も重要な仕事と捉えて、日々の仕事を進めているところです。これには、東京海洋大学で得た多くの学びが総動員されています。働く「自分」の原点は、私の母校にあることを常々感じています。

在校生へ

2017年3月 東京海洋大学海洋工学部海事システム工学科卒業
2017年9月 同大学乗船実習科航海課程 修了
2019年9月 同大学院海運ロジスティクス専攻 修了
2019年10月 独立行政法人海技教育機構 練習帆船「日本丸」航海士

後藤 祐希

私は学部卒業後、乗船実習科での長期実習を経て、再び大学に戻り修士課程に進学しました。大学院では国際法学の研究室に所属し、船員に関する海洋法と国際労働法について研究を行いました。大学院修了後は独立行政法人海技教育機構（JMETS）に入社し、現在は練習帆船「日本丸」の航海士として船舶運航および実習訓練に当たっています。



神戸港にて



日本丸学友会結索班作品

JMETSは8つの学校と5隻の大型練習船を有する国の教育機関で、学科教育と練習船による実習訓練を通じた船員養成を行っています。また、東京・神戸の海事系大学や商船高専といった海事系教育機関の学生を実習生として受け入れ、練習船での航海訓練を実施しています。

私は2019年10月入社、翌11月に四席三等航海士として日本丸に乗船しました。翌年1月からシンガポールへの遠洋航海実習を経験させて頂きました。乗り出しであり、2年ぶりの乗船ということで実習指導は補佐的な役割は多いですが、清水管理や生活排水系統などの担当機器整備、ボトムワークと言われる諸船務一般を受け持っています。また、練習船の若手である三等航海士は生活指導の主力ともなります。船内生活に関する指導はもちろんのこと、学友会活動（簡単なクラブ活動）を一緒に作り上げるなど、「実習生の兄貴分」として学生に一番近い存在でなければなりません。時には、普段の雑談の中で進路に関する相談を受けることなどもあります。経験不足なところはありませんが、何気ないところにも大学での学んだことや自分の経験などが生かされていると感じています。

私は入学当初から海上職を強く希望していた訳ではありません。学部時代には海事関係の団体や調査機関などの陸上職を志望し、就活と進学の間方を視野に入れていました。一転、練習船士官を目指すきっかけになったのは、大学卒業後の遠洋航海でした。当初は「帆船に乗ってみたい」という思いから乗船実習科に進みましたが、海王丸でのカナダへの帆走航海や銀河丸シンガポール航海を経験するなかで、航海術などの海技とともに船員の素養を育む練習船教育に興味を持ったのが理由です。

最後に、在校生の皆さんには自分のこだわりを超えて、様々なことにチャレンジして欲しいと思います。海に特化した本学であれば、強いこだわりや目標・志を持って入学した方が多いと思います。「初志貫徹」の気概も大切ではありますが、何事にも縛られない自由な学生生活であればこそ、様々な体験をし「紆余曲折」の中で迷うことは自身の内的成長に繋がると思います。大学生活は短いです。是非、視野を大きく広げて有意義な大学生活を送ってください。

新任教員の紹介



海洋生物資源学部門 助教

市田 健介

令和2年4月1日付で海洋生物資源学部門の助教に着任いたしました市田健介と申します。平成30年3月に本学の大学院にて学位をいただきまして、その後タイにて博士研究員として勤務をしておりました。この度は母校に助教として着任することができまして、大変光栄に存じます。学生時代から現在に至るまで、魚類の生殖細胞の研究をしており、タイでは魚類の生殖細胞移植技術および細胞の凍結保存技術を用いて、絶滅危惧種であるメコンオオナマズ遺伝子資源を半永久的に保存することを目的に研究を行っておりました。メコンオオナマズはメコン川に生息する絶滅危惧種で、年間の採捕数が10尾にも満たないほどその資源量が減少している魚種であり、その保全事業は喫緊の課題となっています。発生工学の技術を保全事業レベルへと昇華することを目指して研究に従事しておりました。まだこの研究は道半ばですが、本学採用後も国際的に協力を続け研究の完遂に向けて努力してゆきたいと思っております。また海洋大においても豊富な設備を使い、社会貢献かつ独自性の高い研究ができればと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。最後になりますが、ほぼ着任と同時にコロナウィルス感染症による緊急事態宣言が発令され、通常通りではない仕事のスタートとなってしまいました。今は不安もたくさんありますが、早く皆で学業に専念できる状況に戻ることを願ってやみません。



海洋政策文化学部門 准教授

原田 幸子

2020年4月1日付で海洋政策文化学部門に着任した原田幸子です。学部留学生を対象とした日本理解・日本事情や国際協力に関する教育研究を主に担当することとなっています。これまで、水産物の国際貿易に関する研究や、海洋や沿岸地域社会における地域資源の利用と管理をめぐるローカルルールやガバナンスのあり方などに関して研究を進めてきました。衰退する日本の水産業を再び成長の軌道に乗せるためにも、これまで地域において蓄積してきた英知や経験を大事にしながら、国際協力を一層強化するための、グローバルとローカルの調和、あるいはグローバルな目線からの分析が一層重要であると思われます。

本学は、これまで世界に通用するグローバル人材の育成を目指して国際交流に力をいれてきましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で留学や国際交流を進めるにあたって、きわめて難しいハンドリングが迫られることとなってしまいました。日本に留学中の学生も慣れない生活の中で心細い思いをしていることと思います。幸いなことに、現在はオンラインでできることもたくさんありますので、今回の新型コロナの感染拡大が、グローバル化を縮小させるものではなく、新しい交流の形をもたらしてくれるものと信じて、人と人とのつながりを大事にしながら、微力ではありますが、これから本学の国際交流や留学生教育に努めていきたいと思っております。

キャンパスで皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。



海洋政策文化学部門 准教授
若松 美保子

2020年3月、海洋政策文化学部門に着任しました、若松美保子と申します。専門は環境経済学、資源経済学と呼ばれる分野です。環境問題や天然資源の効率的な管理を分析し、科学に基づいて政策に貢献したいと思っています。

海洋大に初めて来たのは、アメリカの大学で博士論文に取り組んでいた時です。日本の漁業を対象にした研究をしたいと思い、日本の大学の先生を訪ねて周り、海洋大の先生にも会いに来ました。大都会にありながら素朴な雰囲気のカンパスにギャップを感じたのを覚えています。博士論文では、北米とは違う日本の漁業管理に興味があり、特にプール制に注目してデータを収集し、定量的にその効果を示しました。博士号取得後は、九州大学大学院工学研究院都市システム工学講座で研究員として数年働き、同じ研究室の助教となりました。工学部の土木といわれるコンクリート建造物の研究が主流の分野において、経済学と工学の融合に取り組む研究室で、経済学的なアプローチを用いて環境の研究に取り組んでいました。市場では測れない環境や資源を価値化する研究は特にニーズがあり、クジラやマグロの管理や阿蘇の水資源などを対象にたくさんのアンケート調査をしました。

今後特に力を入れて行いたい研究は、空間分析を取り入れた漁業者行動です。魚が大好きな皆さんと一緒に日本の漁業を盛り上げていけるような研究ができることを楽しみにしています。



海洋電子機械工学部門 教授
釜田 和利

令和2年4月海洋電子機械工学部門に着任しました釜田和利です。最初に私の経歴を簡単にご紹介致します。私は神戸商船大学機関学科（現神戸大学海事科学部）を卒業して、日本郵船（株）に入社し、その間、外航船舶の機関士/機関長としての海上勤務を約15年、陸上勤務を約24年経験しました。乗船勤務中は数々の船種、航路、機関機種を経験できたこと、特に一等機関士/機関長として、色々なトラブル・故障を経験したことは、陸上勤務での業務に大きく活用できたものと考えます。また、陸上勤務では運航船の安全効率運航に関する業務、新技術開発や人事労務に関する業務、さらには会社経営にも携わるなど幅広い業務経験をさせて頂きま

した。

本学では機関管理の実務を中心に管理システム工学を担当致します。また、デスクトップ型エンジンシミュレータを活用して機関室の高度化や有人自律化（異常予兆、最適オペレーション）について研究を行う予定です。

学生の皆さんの中で、海技士として海運会社への就職を希望される方、あるいは海技士を目指すことに不安を抱いたり、悩んだりしている方はぜひ私の研究室にいらして下さい。海技士の魅力や仕事の醍醐味をお話することによって、海運会社での海技士の役割/イメージが具体的に理解できると思います。

私も学生の皆さんの若い力を刺激に受けて、自身の本学での教育研究に邁進する所存ですので、どうぞよろしくお願ひします。



流通情報工学部門 助教
中井 拳吾

2020年4月1日付けで流通情報工学部門の助教に着任しました中井拳吾です。専門は応用数学で、時系列データの機械学習や流体の基礎方程式の解の性質について研究をしています。

近年、画像認識や自動運転、医療診断など様々な分野で機械学習の利用が試みられています。時系列データの学習についても多種多様な機械学習手法が開発され、予測精度が向上しつつあり実社会で役立てようと研究が進んでいます。一方で「機械学習は何を学習しているのか？」や「なぜ予測がうまくできるのか？」など、数学的な背景の不明点が多く残っています。学習モデルのさらなる精度の向上や信頼度を上げるためにもこれらの疑問を明らかにする必要があり研究しています。

また、水や空気のような流体の挙動を記述する基礎方程式の本質的な構造は未だによく分かっていません。十年ほど前に話題になった21世紀に解かれるべき数学の未解決問題の一つとしてもこの方程式に関する問題を挙げられていることから、その困難さが伺えます。特に、性質のいい場合についての問題に注目して取り組んでいきたいと考えています。

これらの研究をはじめとして、現象を解き明かすことや新たな発見をすることに意欲のある方は大歓迎です。皆さんとワクワクする研究ができることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひいたします。





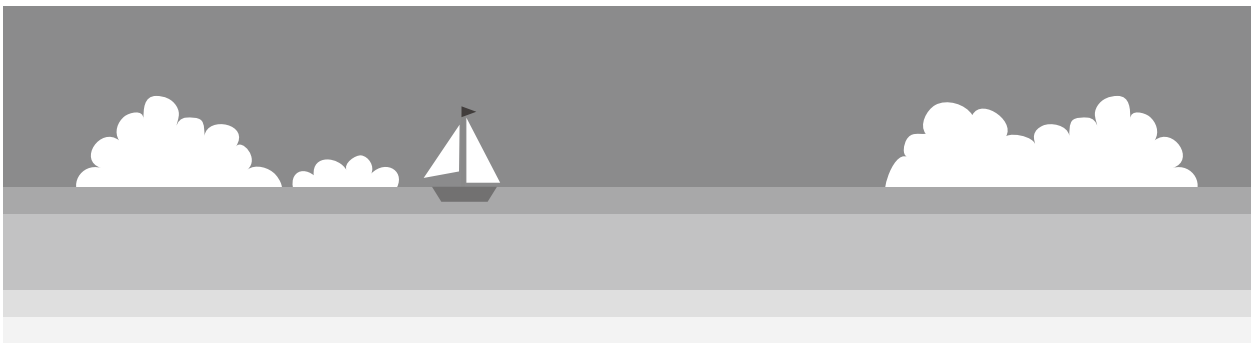
産学・地域連携推進機構 助教
設 楽 愛 子

新入生、在学生の皆さん、進学・進級おめでとうございます。2020年4月より、産学・地域連携推進機構の助教に着任しました設楽愛子です。産学・地域連携推進機構という組織は、学内の先生の産学連携（企業との共同研究）や地域連携（諸外国・自治体との連携事業）活動の支援を中心に、広く研究支援業務を担っていて、どちらのキャンパスにもオフィスがあります。私はそこでURA（リサーチ・アドミニストレータ：研究支援を行う専門職）として勤務しています。

研究支援が業務のため、他の先生たちと比べると学生の皆さんと直接関わる機会が少ないのですが、「知的財産権」に関わる授業などではお会いする機会がある

と思います。また、もし研究室で、先端的な研究に関わっていたら、研究者としての皆さんとがっつりお仕事をさせていただくかもしれません。

私は、2004年に4月入学1期生として海洋大生になりました。その時は、こんなにも長く大学で学び、まして働くなどは夢にも思っていませんでしたが、色々な運とご縁に恵まれて、今に至ります。教員としても一先輩としても、「実学」を学ぶ皆さんが、企業や地域の抱える課題を実感し、学びを深められるようなお手伝いもできれば嬉しいです。本学には、一歩踏み出すと素晴らしい経験を得られる、色々なプログラムがあります。興味があれば、お気軽にお声かけくださいね。皆さんと色々な話ができること楽しみにしています。



2019年度 自治委員会・学生会 報告書

●2019年度 後期定例学生大会報告書

品川キャンパス 自治委員会議長
武藤 真智

1. 各委員会の活動報告および決算報告

各委員会の活動報告および決算報告を行い、全ての委員会の報告が承認されました。

報告内容は以下のとおりです。

●サークル委員会

〈収 入〉	(円)
前期繰越金	238,618
罰金	8,000
計	246,618

〈支 出〉	
フレッシュマンセミナー配達金	15,922
硬貨両替金・予算配布封筒	847
計	16,769

〈来年度への繰越金〉

収入合計	246,618
支出合計	16,769
来年度繰越金	229,849

2. 2019年度自治会費分配報告について

〈収 入〉	
自治会費	
新入生(20,000円×292人)	5,840,000
編入生(10,000円×4人)	40,000
未納入者(20,000円×5人)	-100,000
計	5,780,000

〈支 出〉	
サークル委員会 (72.5%)	4,009,250
海鷹祭実行委員会 (25%)	1,382,500
学生委員会 (2.5%)	138,250
印刷機積立代 (固定)	250,000
計	5,780,000

3. 2020年度自治会費分配案について

〈収 入〉	
自治会費	
新入生(20,000円×292人)	5,840,000
編入生(10,000円×4人)	40,000
計	5,880,000

〈支 出〉	
サークル委員会 (72.5%)	4,081,750
海鷹祭実行委員会 (25%)	1,407,500
学生委員会 (2.5%)	140,750
印刷機積立代 (固定)	250,000
計	5,880,000

●2019年度 海洋工学部学生会報告書

海洋工学部 学生会 事務局長
阿久津 惟斗

〈収 入〉	
前年度繰越金	5,049,096円
学生会費	4,950,000円
平成30年度新入生54人×40,000円)
編入生3人×20,000円	
平成31年度新入生64人×40,000円	
編入生6人×20,000円	
編入生1人×40,000円(20,000円過多)	
在校生1人×10,000円	

利息	26円
前年度未執行戻入金	412,110円
計	10,411,232円

〈支 出〉	
サークル活動支援金	3,544,555円
海王祭実行委員会	2,480,698円
学生会事務費	55,628円
編入生の支払い過多の為の返金	20,000円
計	6,100,881円

〈来年度への繰越金〉	
収入合計	10,411,232円
支出合計	6,100,881円
来年度繰越金	4,310,351円

実行委員長から

来年の海王祭で

お待ちしております。



第60回海王祭実行委員会 委員長
海洋工学部 海事システム工学科3年

伊集院龍之介

2020年6月6,7日に開催予定でありました、第60回海王祭の実行委員長を務めてまいりました、伊集院龍之介と申します。

初めに、この場をお借りして海王祭の開催意義に賛同していただき協力してくださった企業、組合の皆様また参加の意思を表明していただいた地元の方々、本学の生徒の皆様へ厚く御礼申し上げます。

今回の海王祭はコロナウイルス感染拡大の影響を受け、中止という運びとなりました。

先輩方が今まで作り上げた海王祭を見てきた私たちは、前回の海王祭より更に皆様に喜んでいただけるような学園祭にしていくという所存で日々開催への準備を進めておりました。例年よりも本学の生徒の方々に参加していただき、

まずは学生たち楽しんでいただける空間を提供する。更には、地元の小学校等と密に連携して、子供たちに海運、物流という業界の存在を知っていただく等のあらゆる目的をもっておりましたが、残念ながら実現させることは適いませんでした。毎年の開催を楽しみにされていた方々のご期待に沿うことができず、誠に申し訳ございませんでした。

現3年生の我々は、今回の海王祭を以て引退し、次の代へ海王祭を任せます。一度留年してもう一度という考えもありましたが両親の顔が浮かんですぐに考えをやめました。開催できない悔しさはありますが、すべて無意味であったということはなく、大きな責任感を感じながら準備を進めていったことは委員一同の大きな経験になったと思いますので潔く退きます。

来年は私が信頼する後輩たちが、来場者様に楽しんでいただける様な更には、海運業界、物流業界に貢献できる海王祭を必ず開催いたしますので期待しててください。

ご来場お待ちしております。



令和元年度卒業者の就職先

海洋科学部・水産専攻科

業種	企業名	
農業、林業	株式会社アーク	
建設業	鹿島建設株式会社	
	共同エンジニアリング株式会社	
製造業	イオンフードサプライ株式会社	
	大島椿株式会社	
	関東日本フード株式会社	
	キッコーマンソイフーズ株式会社	
	キュービー醸造株式会社	
	弘進ゴム株式会社	
	三進金属工業株式会社	
	大栄フーズ株式会社	
	株式会社田邊空気機械製作所	
	タカラ食品工業株式会社	
	月島食品工業株式会社	
	常石造船株式会社	
	株式会社東洋製罐	
	東洋冷蔵株式会社	
	ドギーマンハヤシ株式会社	
	株式会社豊島屋	
	凸版印刷株式会社	
	株式会社中村屋	
	株式会社ニチレイフレッシュ	
	日清オイリオグループ株式会社	
	日総工産株式会社	
	日本製粉株式会社	
	株式会社ネクスト21	
	はごろもフーズ	
	長谷川香料株式会社	
	フジバングループ本社株式会社	
	プライムデリカ株式会社	
	ブルドックソース株式会社	
	株式会社マルハチ村松	
	横浜冷凍株式会社	
	理研ビタミン株式会社	
	株式会社リーガル	
	電気・ガス・熱供給・水道業	独立行政法人水資源機構
		株式会社日本エコでんき
	情報通信業	株式会社アピリッツ
		株式会社エスピック
株式会社金融ファクシミリ新聞社		
JRAシステムサービス株式会社		
JFEシステムズ株式会社		

業種	企業名
情報通信業	株式会社テレマ
	株式会社東洋信号通信社
	日本ハムシステムソリューションズ株式会社
	パーソルプロセス&テクノロジー株式会社
	フラクタルシステムズ株式会社
株式会社ヘルメスシステムズ	
運輸業、郵便業	五十嵐冷蔵株式会社
	上野トランステック株式会社
	株式会社宇徳
	NYK LNGシッピングマネージメント株式会社
	オーシャントランス株式会社
	海洋技術開発株式会社
	共栄マリン株式会社
	栗林マリタイム株式会社
	山九株式会社
	JXオーシャン株式会社
	正栄汽船株式会社
	新日本海フェリー株式会社
	菅原汽船株式会社
	第一中央内航株式会社
	鶴見サンマリン株式会社
	東日本旅客鉄道株式会社
	株式会社ニチレイロジグループ本社
	日本海洋事業株式会社
	八馬汽船株式会社
株式会社フジトランスコーポレーション	
美須賀海運株式会社	
明治海運株式会社	
卸売業、小売業	稲畑産業株式会社
	エノテカ株式会社
	北村商事株式会社
	株式会社コメリ
	株式会社昭和
	株式会社ショクリュー
	株式会社セブンイレブンジャパン
	千代田水産株式会社
	西本Wismettacグループ
	株式会社モンベル
金融業、保険業	東京信用保証協会
	株式会社広島銀行
学術研究、 専門・技術サービス業	株式会社アウトソーシングテクノロジー
	株式会社ウィンキューブホールディングス
	株式会社えだまめ
	三洋テクノマリン株式会社

業 種	企 業 名
学術研究、 専門・技術サービス業	国立研究開発法人水産研究・教育機構
	一般財団法人日本食品検査
	株式会社プレミアアシスト
	輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
	横河ソリューションサービス株式会社
宿泊業、飲食サービス業	株式会社グランピスタホテル&リゾート
	株式会社First Drop
生活関連サービス業、 娯楽業	株式会社舞浜コーポレーション
	株式会社横浜八景島
教育、学習支援業	宮城県教育委員会
複合サービス事業	相模原市農業協同組合
	全国漁業協同組合連合会
サービス業	株式会社ベネフィット・ワン

業 種	企 業 名
公 務	農林水産省
	防衛省海上自衛隊
	愛知県庁
	東京都庁
	徳島県庁
	長野県庁
	新潟県庁
	足立区役所
	荒川区役所
	刈谷市役所
	さいたま市役所
	名古屋港管理組合

海洋工学部・乗船実習科

業 種	企 業 名
建 設 業	株式会社IHIプラント
	五洋建設株式会社
	三機工業株式会社
	ダイダシ株式会社
	株式会社森永エンジニアリング
製 造 業	株式会社IHI原動機
	アサヒ飲料株式会社
	株式会社アツノ
	株式会社アベックス
	今治造船株式会社
	NOK株式会社
	株式会社オカムラ
	キヤノン株式会社
	シーメンス株式会社
	株式会社ジャパンエンジンコーポレーション
	ジャパンマリンユナイテッド株式会社
	株式会社新来島どつく
	住友重機械工業株式会社
	セイコーエプソン株式会社
	西部電機株式会社
	ダイハツディーゼル株式会社
	常石造船株式会社
	東海理化電機製作所
	東京計装株式会社
	凸版印刷株式会社
	ナプテスコ株式会社
	株式会社a会社ニデック
	パナソニック株式会社
本田技研工業株式会社	
株式会社三井E&Sマシナリー	
電気・ガス・熱供給・水道業	東京ガス株式会社
情報通信業	アサヒビジネスソリューションズ株式会社
	アジアクエスト株式会社
	アドソル日進株式会社
	EPテクノ株式会社

業 種	企 業 名
情報通信業	株式会社SAT
	NECネットスアイ株式会社
	NTTワールドエンジニアリングマリン株式会社
	株式会社セールスパートナー
	鉄道情報システム株式会社
	トーテックアメニティ株式会社
	農中情報システム株式会社
	富士通株式会社
	株式会社フレックス
	三井情報株式会社
	横河ソリューションサービス株式会社
Retty株式会社	
運輸業、郵便業	旭タンカー株式会社
	飯野海運株式会社
	出光タンカー株式会社
	株式会社ANA Cargo
	NSユナイテッド海運株式会社
	株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ
	オーシャントランス株式会社
	海洋技術開発株式会社
	株式会社花王ロジスティクス
	川崎汽船株式会社
	共栄タンカー株式会社
	協同商船株式会社
	栗林マリタイム株式会社
	株式会社グローバルオーシャンディベロップメント
	ケイラインローローバルグリップマネージメント株式会社
	鴻池運輸株式会社
	JXオーシャン株式会社
	株式会社商船三井
	商船三井フェリー株式会社
	新日本海フェリー株式会社
	西濃運輸株式会社
	全日本空輸株式会社
第一中央汽船株式会社	
株式会社ダイトーコーポレーション	
大東通商株式会社	

業 種	企 業 名
運輸業、郵便業	大洋産業貿易株式会社
	田淵海運株式会社
	豊通物流株式会社
	日通NECロジスティクス株式会社
	一般財団法人日本海事協会
	日本海洋事業株式会社
	日本郵船株式会社
	株式会社阪急阪神エクスプレス
	東日本旅客鉄道株式会社
	株式会社日立物流
	富洋海運株式会社
	三菱商事ロジスティクス株式会社
	三菱倉庫株式会社
	明治海運株式会社
	郵船クルーズ株式会社
郵船ロジスティクス株式会社	

業 種	企 業 名
卸売業、小売業	全日空商事株式会社
不動産業、物品賃貸業	CBRE株式会社
	日鉄興和不動産株式会社
学術研究、 専門・技術サービス業	エム・フィールド株式会社
	一般財団法人日本海事協会
	一般社団法人日本海事検定協会
	一般財団法人日本繊維製品品質技術センター
	株式会社日本ビジネス開発
生活関連サービス業、 娯楽業	船井総研ロジ株式会社
	株式会社オリエンタルランド 株式会社からだにいいこと
サービス業	天理教東本大教会 株式会社メイテック
公 務	国土交通省
	財務省財務局
	東京都庁

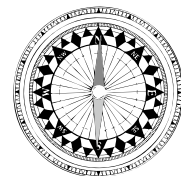
大学院海洋科学技術研究科

業 種	企 業 名
鉱業、採石業、 砂利採取業	国際石油開発帝石株式会社
	石油資源開発株式会社
建 設 業	株式会社エイト日本技術開発
	株式会社エコー
	オルガノ株式会社
	栗田工業株式会社
	五洋建設株式会社
	JFEエンジニアリング株式会社
	大成建設株式会社
	株式会社太平エンジニアリング
	株式会社社長大
	株式会社テイコク
株式会社PCER	
製 造 業	アクサス株式会社
	味の素AGF株式会社
	味の素冷凍食品株式会社
	株式会社アルピオン
	いすゞ自動車株式会社
	井関農機株式会社
	伊藤ハム株式会社
	AGC株式会社
	ABB株式会社
	エクソンモービル・ジャパン
	エスピー食品株式会社
	エバラ食品工業株式会社
	エム・シーシー食品株式会社
	株式会社科学飼料研究所
	片岡物産株式会社
	カネリョウ海藻株式会社
	キーサイト・テクノロジー株式会社
	キッコーマンソイフーズ株式会社
キューピー株式会社	

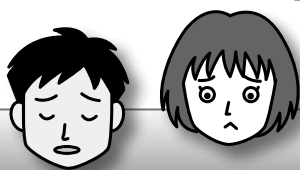
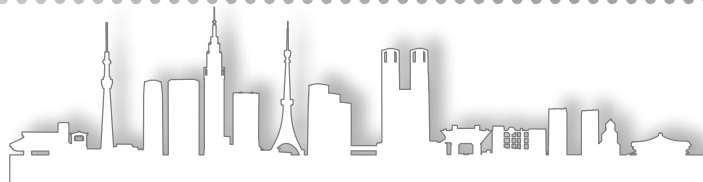
業 種	企 業 名
製 造 業	協和発酵バイオ株式会社
	株式会社極洋
	クラシエホームプロダクツ株式会社
	グロープライド株式会社
	ケンコーマヨネーズ株式会社
	株式会社合食
	小林製菓株式会社
	サントリー食品インターナショナル株式会社
	サンヨー食品株式会社
	JCRファーマ株式会社
	株式会社シマノ
	シャープ株式会社
	昭和産業株式会社
	セイコーエプソン株式会社
	大和製罐株式会社
	常石造船株式会社
	株式会社デンソー
	東興薬品工業株式会社
	東洋水産株式会社
	東洋製罐株式会社
	東洋冷蔵株式会社
	凸版印刷株式会社
	株式会社永谷園
	株式会社ナリコマフード
	株式会社ニチレイ
	株式会社ニチレイフーズ
	株式会社ニチレイフレッシュ
	日清オイリオグループ株式会社
	日清食品株式会社
	日清食品ホールディングス株式会社
	日本テトラパック株式会社
	日本電子株式会社
	日本水産株式会社
日本製粉株式会社	

業 種	企 業 名
製 造 業	日本農産工業株式会社
	日本無線株式会社
	バイオ科学株式会社
	ハウス食品株式会社
	ファームチョイス株式会社
	ブルドックソース株式会社
	古野電気株式会社
	ホッカンホールディングス株式会社
	マイクロンメモリジャパン合同会社
	マルハニチロ株式会社
	三起商行株式会社
	株式会社Mizkan
	株式会社MizkanHoldings
	三菱重工冷熱株式会社
	三菱商事ライフサイエンス株式会社
	三菱電機株式会社
	三菱マテリアル株式会社
	ミヨシ油脂株式会社
	森永製菓株式会社
	森永乳業株式会社
株式会社ヤクルト本社	
ヤマサ醤油株式会社	
ヤンマーホールディングス株式会社	
理研ビタミン株式会社	
株式会社ロッテ	
電気・ガス・熱供給・水道業	北千葉広域水道企業団
	JXTGエネルギー株式会社
	中部電力株式会社
情報通信業	株式会社インテージ
	株式会社インテージテクノスフィア
	株式会社ウェザーニューズ
	SF Technology Co., LTD
	SCSK株式会社
	MUS情報システム株式会社
	株式会社NHKビジネスクリエイト
	NYKBusinessSystems
	国際ケーブル・シップ株式会社
	JFEシステムズ株式会社
	システムサービス株式会社
	数研出版株式会社
	ソフトバンク株式会社
	SOLIZE Engineering株式会社
	DIRインフォメーションシステムズ株式会社
	テックスエンジニアリング株式会社
	株式会社電通国際情報サービス
	日本アイ・ピー・エム・サービス株式会社
	株式会社日立ハイテクノロジーズ
	HOYAデジタルソリューションズ株式会社
株式会社リアライズ	
運輸業、郵便業	NYKバルク・プロジェクト株式会社
	F-LINE株式会社
	エム・オー・エル・エルエヌエヌ輸送株式会社
	東海旅客鉄道株式会社
	株式会社日陸

業 種	企 業 名
運輸業、郵便業	日本通運株式会社
	株式会社ホンダロジスティクス
卸売業、小売業	神畑養魚株式会社
	シリウスオーシャン株式会社
	株式会社タケショー
金融業、保険業	株式会社ラクト・ジャパン
	株式会社NTTデータ・フィナンシャルコア
	日本漁船保険組合
学術研究、 専門・技術サービス業	日本政策金融公庫
	アクセンチュア株式会社
	アビームコンサルティング株式会社
	一般社団法人鮎川まちづくり協会
	いであ株式会社
	Indonesian Institute of Science(LIPI)
	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術安全研究所
	一般社団法人海洋水産システム協会
	株式会社JTBコミュニケーションデザイン
	特許業務法人志賀国際特許事務所
	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所
	国立研究開発法人水産研究・教育機構
	株式会社 東京久栄
	日本海区水産研究所
	一般社団法人日本海事検定協会
	一般財団法人日本食品分析センター
	日本水先人会連合会
	株式会社ノースサンド
	パンフィックコンサルタンツ株式会社
	株式会社BMLフード・サイエンス
PwCコンサルティング合同会社	
Penguin Tokyo株式会社	
みなとみらい特許事務所	
レイスグループ	
生活関連サービス業・娯楽業	株式会社サンシャインエンタプライズ
教育・学習支援業	株式会社エレファンキューブ
	独立行政法人海技教育機構
	独立行政法人国立高専機構鳥羽商船高等専門学校
	株式会社自然教育研究センター
	株式会社Z会
複合サービス事業	国立大学法人東京海洋大学
	公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
	全国漁業協同組合連合会
サービス業	日本生活協同組合連合会
	株式会社アミークス
	WDB株式会社エウレカ社
公 務	メイテック株式会社
	環境省
	消費者庁
	農林水産省
	防衛装備庁
	神奈川県庁
	千葉県庁
福岡県庁	
横浜市役所	
中央区役所	



学生相談の体制



学生相談室について

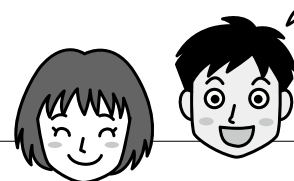
学生相談（カウンセリング）

学生生活、進路、対人関係で悩みがある場合は、専門カウンセラーが相談に応じます。

話をしてみることで、あるいは自分の思いを表現し

てみることで、思いのほか気持ちが楽になったり、次への展開へのきっかけが見つかったりもするものです。相談内容についての秘密は厳守されています。

品川キャンパス



場 所	大学会館1階学生相談室
日 時	水曜日 13:00～16:40 木曜日 12:00～15:40 ※詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。 大学ホームページ「在学生の方へ」→「保健管理センター」→「学生相談」
相談員	染谷先生（女性：臨床心理カウンセラー・水曜日担当） 高井先生（女性：臨床心理カウンセラー・木曜日担当）
予約方法	直接相談室においでくださるか、メールでご予約ください。 メール s-counseling@o.kaiyodai.ac.jp

越中島キャンパス

場 所	越中島会館1階 学生相談室
日 時	水・金曜日 12:00～16:00 ※詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。 大学ホームページ「在学生の方へ」→「保健管理センター」→「学生相談」
相談員	善積先生（女性：臨床心理カウンセラー・水曜日担当） 河崎先生（女性：臨床心理カウンセラー・金曜日担当）
予約方法	直接相談室においでくださるか、保健管理センターでご予約ください。 1. 窓口にて 2. 電話 03-5245-7357（保健管理センター事務室） 3. メール e-hoken@o.kaiyodai.ac.jp

令和2年度 学生支援教員

1年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	寺原 猛	壁谷 尚樹	
	食品生産科学科	松本 隆志	高橋 希元	
	海洋政策文化学科	柿原 泰	松井 隆宏	
海洋工学部	海事システム工学科	村井 康二	田村 祐司	古谷 雅理
	海洋電子機械工学科	元田 慎一	井原 智則	小池 雅和
	流通情報工学科	竹縄 知之	麻生 敏正	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	村瀬 弘人	森 直文	高橋 美穂
	海洋資源エネルギー学科	谷 和夫	井田 徹哉	

2年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	團 重樹	矢澤 良輔	
	食品生産科学科	久田 孝	柴田 真理朗	
	海洋政策文化学科	日臺 晴子	大石 太郎	
海洋工学部	海事システム工学科	高木 直之	岡崎 忠胤	西崎 ちひろ
	海洋電子機械工学科	井上 順広	國吉 直	後藤 慎平
	流通情報工学科	渡邊 豊	生天目 知美	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	山中 寿朗	神尾 道也	牧田 寛子
	海洋資源エネルギー学科	下島 公紀	古山 精史朗	

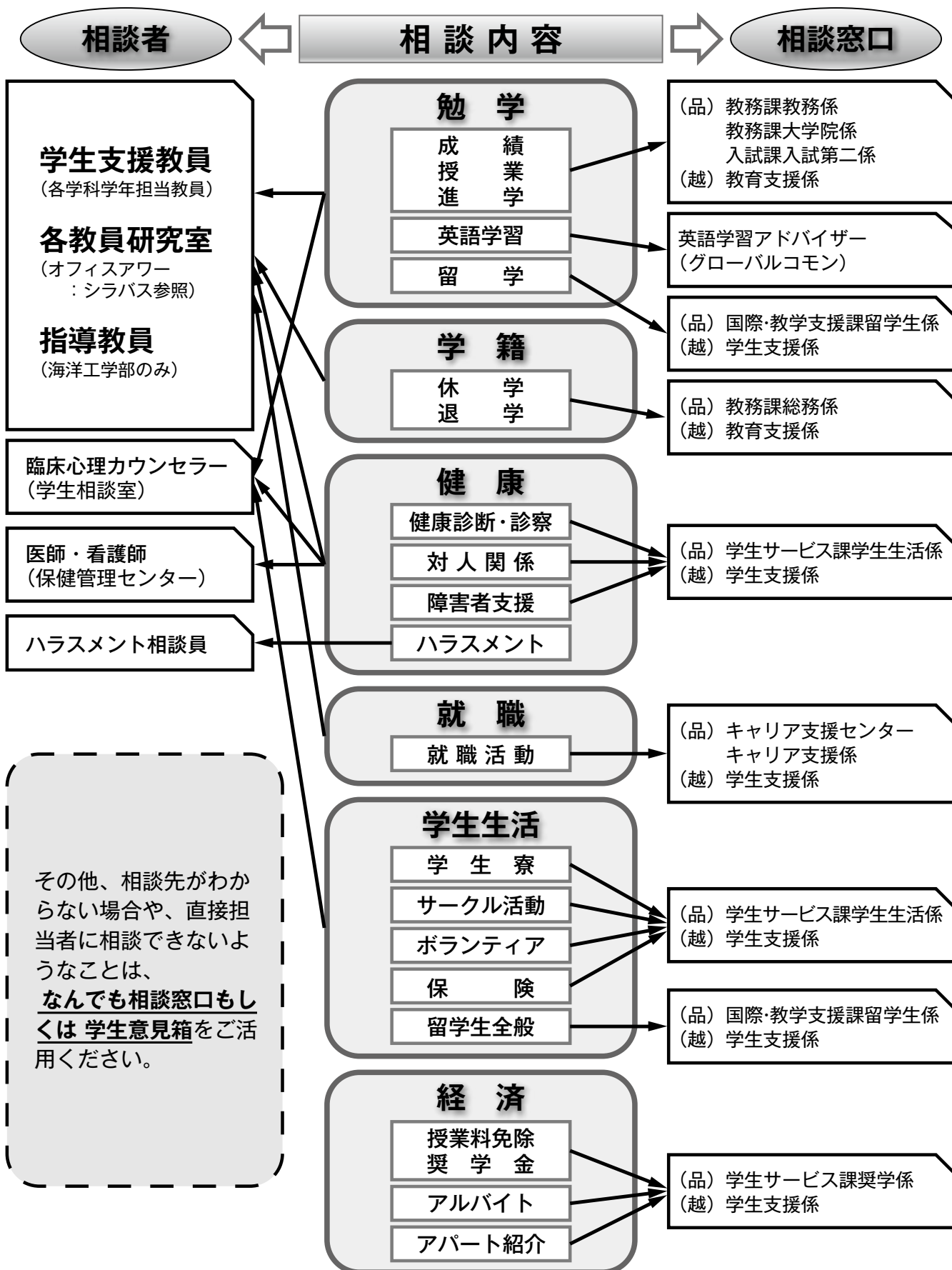
3年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	二見 邦彦	山本 洋嗣	
	食品生産科学科	石崎 松一郎	小川 美香子	
	海洋政策文化学科	佐々木 剛	婁 小波	
海洋工学部	海事システム工学科	陶山 貢市	南 清和	内野 明子
	海洋電子機械工学科	吉岡 諭	波津久 達也	関口 美保
	流通情報工学科	兵藤 哲朗	茂木 康平	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	島田 浩二	宮崎 奈穂	呉 海云
	海洋資源エネルギー学科	池谷 毅	榎 牧子	

4年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	片桐 孝之	岩田 繁英	
	食品生産科学科	後藤 直宏	木村 凡	
	海洋政策文化学科	高橋 周	萩原 優騎	
海洋工学部	海事システム工学科	岩坂 直人	久保 信明	田丸 人意
	海洋電子機械工学科	岩本 勝美	佐々木 秀次	大島 浩太
	流通情報工学科	久保 幹雄	奥村 保規	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	長井 健容	中村 玄	任 恵峰
	海洋資源エネルギー学科	甘糟 和男	中東 和夫	

本学の学生相談体制について



お知らせ

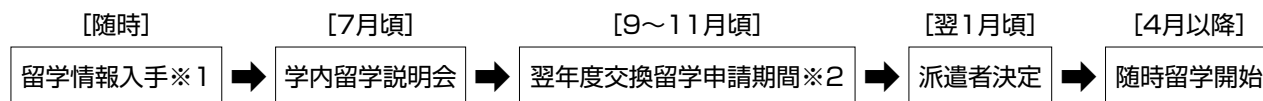
交換留学をしてみませんか？

新入生の皆さん、在学生の皆さん、新年度はいかがお過ごしでしょうか。

さて、東京海洋大学では2020年5月現在、世界の17カ国・地域の52大学と交換留学に関する協定（学生交流協定）を締結しています。交換留学とは、協定校へ3か月～最長1年間留学できる制度で、協定に基づき「受け

入れ大学は入学金、授業料を徴収しない」「留学先で取得した単位は、審査のうえ本学の単位に認定できる」「協定校から生活面、教育面での指導や、宿舍申請のサポートを受けられる」ほか、「専門的な講義を履修できる」など、個人的に語学学校などへ留学するのに比べて様々なメリットがあります。皆さんもぜひ留学してみませんか？

◆毎年の申請の流れ



※1 本学担当窓口で配布する「留学の手引き」や各協定校のHPをご覧ください。

※2 留学開始時期によっては、申請期間後も随時受け付けています。

◆留学できる大学（2020年5月1日現在）

（中国）哈爾濱商業大学、大連海洋大学、上海海洋大学、広東海洋大学、浙江海洋大学、大連海事大学、上海海事大学、中国海洋大学、集美大学、華東理工大学、華東師範大学、香港大学生物科学学院 （台湾）台湾海洋大学、高雄科技大学、台湾大学理学院 （韓国）釜慶大学校、全南大学校、韓国海洋大学校、木浦海洋大学校、釜山大学校、江原大学校 （インドネシア）ボゴール農科大学、サムラトゥランギ大学、ハサヌディン大学、ディポネゴロ大学 （フィリピン）サンカルロス大学 （タイ）カセサート大学、チュラロンコン大学、プリンスオブソンクラ大学、マエファラン大学、マヒドン大学、プラバ大学、ワライラック大学 （ベトナム）ニャチャン大学、カントー大学、ハノイ工科大学 （マレーシア）マレーシア大学サバ校 （カナダ）ヴィクトリア大学 （オーストラリア）タスマニア大学、フリンダース大学理工学部 （トルコ）エーゲ大学、イスタンブール大学、チャナッカレ・オンセキズ・マルト学、ムーラ・シツウキ・コシマン大学水産学部 （アイスランド）アイスランド大学、アクレイリ大学 （ノルウェー）ノード大学、ノルウェー北極大学 （ペルー）国立アグリリア・ラ・モリーナ大学 （ブラジル）サンパウロ大学 （アルゼンチン）サンマルティン大学 （ナミビア）ナミビア大学

◆交換留学の担当窓口

（品川キャンパス）学務部国際・教学支援課留学生係

（越中島キャンパス）越中島地区事務室学生支援係

《先輩の声》 海洋生命科学部海洋政策文化学科3年 小松俊士郎さん

【留学先】台湾海洋大学（2019年8月～2020年1月）

好きな国で関心のある専門分野を学べることは、人生で最も幸せな時間でした。大学も大学以外の生活も常に初めて経験の連続で、新鮮な毎日でした。最も大きな挑戦として、留学の後半に、近隣の小学校から日本文化の紹介を依頼され、中国語で発表を行いました。依頼された時点では、不安が大きかったのですが、留学中に何も成し遂げることなく終わりにたくないという気持ちから一歩を踏み出してみました。発表は決して上手くいったわけではないですが、日本が大好きな児童も多く、かなり好評でした。この挑戦だけでなく、授業中のグループワークなど、言語のハンデがありながらも周りの人たちに助けられ、乗り越えました。台湾では、助け合う文化があり、自分だけで抱え込む必要はなく、心地良かったです。台湾の人々のおかげで挑戦する力を身につけたと言っても過言ではありません。恩返しのために、将来は日台交流の架け橋になりたいです。また、異文化に触れた結果、違う視点を持つことで独創性が磨かれ、発想が柔軟になりました。この交換留学制度のおかげで、自分が大きく成長できたことを非常に感謝しています。より多くの海洋大生に交換留学をしていただき、新たな自分に出会ってほしいと思います。



前列中央が筆者

図書館からのお知らせ

東京海洋大学「古本募金プロジェクト」のご案内

— 眠っている本で母校を応援しませんか? —

このプロジェクトは、利用し終えた書籍、CD・DVDやゲームソフトなどをお送りいただくことで、その買い取り額を寄附金として本学に受け入れ、学生の教育・研究活動に役立てる取り組みです。

在校生・卒業生、その親族の方のほか、どなたでもお申し込みいただけます。読まなくなった本を整理したい方、ぜひ、東京海洋大学「古本募金プロジェクト」をご利用ください。

■申し込み方法：箱詰めして電話するだけ。

不要になった書籍等を段ボール箱に入れ、提携会社バリューボックス（電話：0120-826-292）に連絡してください。宅配業者が受け取りに参ります（5冊以上なら送料はかかりません。1回の申込みで3箱まで）。

【注意】 以下の本は取り扱えませんので、ご了承ください。

※ISBNのない本、百科事典、コンビニコミック、個人出版の本、マンガ・一般雑誌など

詳細は、東京海洋大学古本募金サイトをご覧ください。
<http://www.furuhon-bokin.jp/kaiyodai/>

図書館には、古本募金プロジェクト用の回収ボックスもありますので、冊（点）数が少ない場合は回収ボックスをご利用ください。

直接図書館に書籍等を寄附される場合は、各キャンパスの図書館にご連絡ください。

本学の教育・研究環境充実のため、皆様のご協力をお願い申し上げます。

国立科学博物館および国立美術館の利用について

本学は、「国立科学博物館 大学パートナーシップ」および「国立美術館キャンパスメンバーズ」に加入しております。

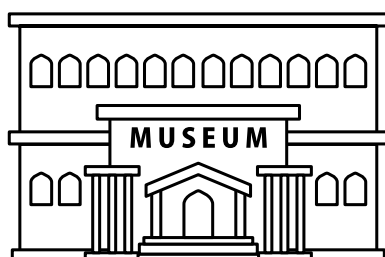
◆国立科学博物館 大学パートナーシップ利用可能施設

施設名	住 所
国立科学博物館(上野公園)	東京都台東区上野公園7-20
附属自然教育園	東京都港区白金台5-21-5
筑波実験植物園	茨城県つくば市天久保4-1-1

本学の学生証を提示することで、下記施設の常設展が無料で利用できるほか、特別展・企画展を割引料金で鑑賞できるなどの特典があるので、ぜひご利用ください。

◆国立美術館 キャンパスメンバーズ利用可能施設

施設名	住 所
東京国立近代美術館	東京都千代田区北の丸公園3-1
国立西洋美術館	東京都台東区上野公園7-7
国立新美術館	東京都港区六本木7-22-2
国立映画アーカイブ	東京都中央区京橋3-7-6



緊急時連絡システムについて

(さくら連絡網)

1. 緊急時連絡システムとは

本学のすべての学生・教職員と緊急時に連絡をとるためのメール・LINE・アプリによる配信システムです。

- ①台風・地震等の自然災害やインフルエンザ流行等による**緊急の休講等**を連絡します。
- ②**災害時の安否確認**や健康状態の収集手段としても使用します。
- ③その他、掲示板で告知するお知らせの中で緊急性があり重要と判断するお知らせ等の連絡をします。

2. 登録方法

携帯電話・スマートフォン等の携帯端末や自宅PC等の**複数のメールアドレス（4件まで）、LINE、アプリ**も登録できます。**必ず登録して下さい。**

3. 登録手順

(1) さくら連絡網登録用QRコードまたはURLにアクセスします。

QRコードはこちら →



URLはこちら → <http://390390.jp>

URLを直接入力した場合は、
認証コードの入力を求められます。
認証コード：204 441 4

(2) 連絡を受け取りたい方法を**【LINE】**、**【アプリ】**、**【メール】** から選びます。（※3種類とも登録できます。）

(3) **【LINE】** を選んだ場合

- ①LINEの友だち追加ボタンから登録（追加）します。（トークから登録開始）
- ②認証コード：204 441 4 を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

【アプリ】 を選んだ場合

- ①さくら連絡網のアプリをインストールします。
- ②アプリを起動して、認証コード：204 441 4 を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

【メール】 を選んだ場合

- ①登録用メール送信画面に切り替わるので、そのまま送信します。（※メール本文は変更しないでください。）
- ②さくら連絡網からメールで登録用のURLが届きます。
- ③URLにアクセスして、登録画面からIDとパスコードを入力します。

(4) メニュー画面（以下、マイページといいます）が表示されたら登録完了です。

4. メール受信時の注意

- ①緊急時連絡システムでは、メール、LINE、を受信者が開封したかどうかの確認できるシステムです。
また、アンケート形式で安否確認を行う場合もあります。
受信した場合は、必ず開封し、内容を確認した後、指示に従って回答して下さい。
- ②登録用メールが届かない場合は、ドメイン指定受信に「school-i.net」を追加登録して下さい。
- ③マイページ (<https://390390.jp/parent/menu>) をブックマーク（スマートフォンの場合はホーム画面に追加）しておく、後日、メールアドレスの変更等を行う際に便利です。また、簡単ログイン設定をしておく、次回からワンクリックでマイページにアクセスできます。
- ④配信先の変更を希望する場合やアドレス自体を変更した場合は、マイページのメニューの「連絡先を追加」から新し

い連絡先を追加するとともに、「登録情報確認」から古い連絡先を削除して下さい。

- ⑤ログインID、パスコードは、各自で管理して下さい。（入学時に、学部生には大学メールアドレスに配信。大学院生、非正規生には紙で配付しています。）
- ⑥パスコードを紛失した場合は、以下の問合せ先へご連絡下さい。
- ⑦緊急時連絡システムは、大学からの送信専用アドレスです。
上記のアンケート形式での回答以外は、大学側では内容の確認ができませんのでご注意ください。

5. 個人情報の取り扱いに関して

緊急時連絡システムにご登録いただいたメールアドレス等、個人情報に関しては本学個人情報保護規則に則り厳正な取扱いをいたします。また、上記の目的に限り使用し、他の目的で使用することはありません。

EMERGENCY CONTACT SYSTEM

“さくら連絡網 (SAKURA RENRAKUMOU REGISTRATION)”

What is the Emergency Contact System?

The purpose of this system is to contact students, professors and university staff members by email in the following cases:

1. to inform them when classes are suddenly canceled due to a natural disaster (typhoon, earthquake), a flu epidemic or other reasons
2. to gather information about the safety and health of university members after a disaster
3. to disseminate urgent and important information displayed on the university's notice boards

How to register

Please register multiple mail addresses (up to Four) or LINE or other apps from mobile terminals such as mobile phones, smart phones, and home PCs in order to confirm sure and prompt correspondence from the university in an emergency. Please be sure to register.

Registration process

1. Access the QR code or URL for Sakura Renrakumou Registration.

QR code



URL

<http://390390.jp>

2. Choose the method by which you would like to receive information from the university: “LINE,” “app” or “Email.”

*You can also register all three.

3. **If you choose “LINE,”**

- ① register (add) from LINE's Add Friends button. (i.e., start from the “Talk” page).
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

If you choose “app,”

- ① Install the Sakura Renrakumou app.
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

If you choose “Email,”

- ① the page moves to the sending registration mail screen; please send an email.
*Please do not change the body of the mail.
- ② receive the registration email from Sakura Renrakumou.
- ③ access the URL and enter the ID and passcode on the registration screen.

4. Registration is completed when the menu screen is displayed.

Notes

- The system is configured to detect whether recipients have accessed their messages. It is also used to gather information about the safety of the registered community through questionnaires. When you receive it, please ensure that you open the message and reply according to the instructions.
- If you fail to receive the registration form after sending the registration email, please check your mobile phone's spam filter settings. Add the domain name school-i.net to your list of authorized contacts.
- Add the system login page (<https://390390.jp/parent/login>) to your bookmarks to easily access your email and passcode settings.
- Manage your ID and passcode carefully, and make sure that you change your passcode after logging in for the first time.
- To change your delivery settings, register a new email address.
- If you forget your passcode, contact the responsible section using the contact details below.
- The system is a send-only address. The university cannot receive emails sent to this address.

Privacy policy

Email addresses and other personal information registered on the system are strictly protected according to the university's privacy policy. The system is used exclusively for the purposes stated above.

Contact

General Affairs Department, General Affairs Division
Email: so-soumu@o.kaiyodai.ac.jp Tel: 03-5463-0354

ネットワーク障害防止のための注意事項

重要!

キャンパス内で、ネットワーク停止が頻発しています。
研究室内の配線の点検をお願いします。



ループ状にケーブルを接続しない

ケーブルの両端をネットワーク機器に接続すると、出口のない通信パケットがネットワーク内で増大し、フロア全体や建屋全体が通信不能になるなどの重大な障害が引き起こされます。利用しないケーブルは機器から取り外してください。

古いハブ、壊れたLANケーブルを使用しない

古くなったプラスチック製のハブ(HUB、Switch)は、熱暴走等でフロア全体の通信障害の原因となることがあります。壊れた配線やコネクタの損傷も通信トラブルの原因になる場合があります。導入後の年数や破損状況などを確認し、適宜、買い替えましょう。

→**金属製ケースのハブがオススメ**です。放熱に優れ、安定して長く使えます。
詳しい型番などは下記窓口にお問い合わせください。

研究室内のルータの設定・接続を正しく行う

研究室で個別に設置したブロードバンドルータ、無線LANルータのDHCP機能の誤設定により、フロアや建屋全体での通信障害につながる場合があります。ネットワークケーブルが正しく接続されているかを点検してください。

→ **「WAN」「LAN」を間違えると障害が発生します!**

古いOAタップの使用、定格電流を超えた使用や、
夕コ配線は**火災の原因になります**ので、注意してください。



注意

PCは最新の状態にアップデートしてください

OSの脆弱性を狙ったウイルスによる情報漏えい被害が世界的に報告されています。利用しているOSやウイルス対策ソフトを常に最新の状態を保つようにしてください。私有のノートPCでも、大学配布のウイルスバスターをインストールすることができますので、是非活用してください。

Windows XP、Vista、8 及び Mac OS Xは、メーカーのサポートが終了しています。これらのOSをお使いの場合は速やかに最新のOSに更新してください。

現在利用可能なOSは、Windows10、Windows8.1、Windows7、macOS(Mojave)です。

※ 2020年1月14日にWindows7のサポートが終了します。

PC等を廃棄する際はデータの消去をしてください

廃棄するパソコン等からの情報流出を防ぐため、ハードディスク、SSD等の記録媒体の破壊装置、消去装置を利用してください。下記窓口にお持ちください。

情報システムに関する全学問合せ窓口

メール ict-support@o.kaiyodai.ac.jp 内線 0446

附属図書館(品川) 1階事務室内 (担当: 学術情報課情報企画係)

大学配布ソフトウェアの入手方法 <http://support.ipc.kaiyodai.ac.jp/>

Important!

Precautions for Preventing Network Failure

Network outages occur frequently on campus.
Check the wiring inside the research office.



Do not connect the cable in a loop (as in the picture.)

Connecting both ends of a cable to network equipment can cause serious obstacles. For example, communication packets without an exit increase within the network, making the entire floor or building unreachable. Remove unused cables from the equipment.

Do not use old hubs or broken LAN cables

An old plastic hub (HUB, Switch) may cause communication failure of the entire floor due to thermal runaway. Damaged wires and connector damage may also cause communication trouble. Check the years of use and state of damage and replace as necessary.

→ **A hub with a metal case is recommended.** It is stable, long-lasting, and provides excellent heat dissipation. For a detailed model number, contact the Inquiry Center given at the bottom of this page.

Set up and connect the router in the office correctly.

Misconfiguration of the DHCP function on the broadband router and wireless LAN router individually installed in the offices may lead to communication failure on the floor or the entire building. Check that the network cable is properly connected.

→ **If "WAN" and "LAN" are confused, network failure will result!**

Use of old OA taps, use exceeding the rated current, and use of power strips **may cause fire.** Beware.



Caution

Optimize your PC with the latest updates

Information leakage due to viruses targeting OS vulnerabilities is reported worldwide. Make sure that the operating system and antivirus software you are using are kept up to date. Even on a private notebook PC, you can install the university-distributed antivirus software. Take advantage of it by all means. Manufacturer support has ended for Windows XP, Vista 8, and Mac OS X. Update to the latest OS promptly if using these OS. The currently available OS are Windows 10, Windows 8.1, Windows 7, macOS (Mojave).

※ Windows 7 End of Life is January 14th, 2020.

Delete data when discarding a PC, etc.

To prevent information leakage from discarded personal computers, etc., use data destruction and erasure devices for recording media such as hard disks and SSDs. Please bring them to the following counter:

Information System Inquiry Center

Email ict-support@o.kaiyodai.ac.jp Extension 0446

TUMSAT Library (Shinagawa) Office, first floor

To obtain University distribution software, contact: <http://support.ipc.kaiyodai.ac.jp/>

掲 示 版

薬物の乱用について

薬物の乱用は、本人の精神と身体に危害を及ぼします。また、友人や家族関係の崩壊にもつながるなど、本人だけでなく、社会全体に計り知れない影響をもたらします。このため、薬物の所持や使用は法律で禁止されており、違反者は厳罰に処せられます。

薬物に対して安易な気持ちや一時の興味で接することのないよう十分注意してください。

盗難に注意

下記の事項を守り、自己管理を徹底してください。

- ・貴重品は、できる限り大学には持参しないでください。
- ・やむを得ず所持する場合は、各自でロッカーに鍵をかけて管理してください。
- ・鍵は安易に解錠出来ないもの（ダイヤル式など）を選んでください。

悪質商法等に注意

消費者契約等に関するトラブルが増加しています。うまい話には要注意です。少しでも疑問を感じたら契約しないでください。また、身に覚えのない請求などは支払わないでください。

訪問販売や電話勧誘販売など、特定の取引の場合に、一定期間内ならば理由を問わず解約できるクーリング・オフ制度があります。もしも被害に遭ってしまったときは消費生活センターに相談してください。

カルト団体等の偽装勧誘に注意

キャンパス内において、自らが宗教団体であることを名乗ることなく、サークル活動や自主ゼミと称し、特定の反社会的なカルト団体に引き込まうとする「偽装勧誘」の事例があります。

声を掛けられておかしいと感じた場合はキッパリと断り、安易に電話番号、メールアドレス等を交換しないでください。また、不審な団体と感じたとき、あるいは勧誘活動を受けた場合は、下記まで知らせてください。

- 品川キャンパス：学生サービス課学生生活係
- 越中島キャンパス：越中島地区事務室学生支援係

飲酒についての注意事項

(1) 未成年者の飲酒は法律で禁止されています。

アルコールには麻酔作用があるので、未成年者が飲み方や適量もわからず無理に飲むと、急性アルコール中毒を起こしやすいといわれています。もし、誰かに勧められても、きちんと断ることが大切です。

(2) 飲酒の強要は絶対にしないこと。

未成年者やお酒に弱い方にお酒を強要することは絶対にしないでください。

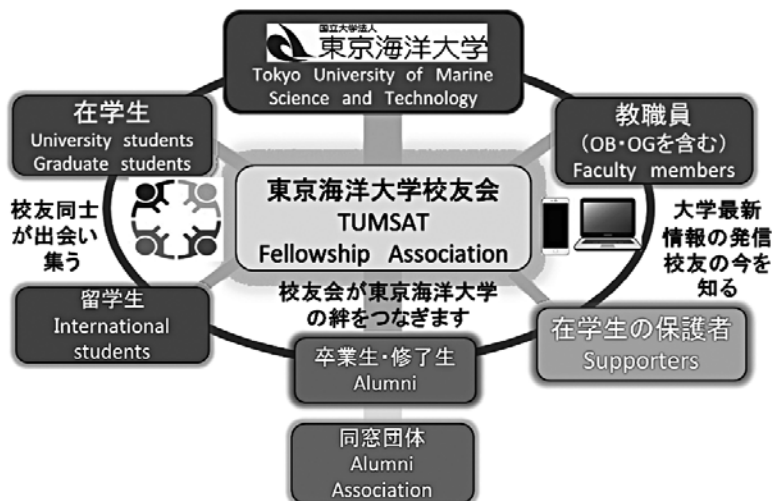
(3) 飲酒運転は厳禁です。

「道路交通法」では飲酒運転のほか、飲酒者への車両の提供、運転者への酒類の提供、飲酒運転の車への同乗についても禁止されており、厳しい罰則が課せられます。

東京海洋大学校友会のご案内

Q1.「東京海洋大学校友会」とは何ですか？

東京海洋大学は、2017年4月の新学部「海洋資源環境学部」設立を機に国内における唯一の海洋系総合大学として体制を強固にしました。今後、社会全体に強くその存在をアピールしていくため、2018年4月、全学的に「校友」同士の交流を活発化させ、本学の発展に寄与することを目的として、「東京海洋大学校友会」を発足しました。



Q2.「校友」とは誰ですか？

東京海洋大学および東京水産大学、東京商船大学等前身校の卒業生、在学学生、在学学生・卒業生の保護者、教職員の皆さまです。ホームカミングデーや練習船見学会など、「校友」限定イベントも企画し、「校友会ホームページ」や「校友会メルマガ」でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

Q3.「校友会ホームページ」とは何ですか？私もアカウントを貰えますか？

SNS機能、校友会メルマガ、公認課外活動団体ポータルサイトなど様々な機能を備えた「校友」限定ホームページです。「校友」の皆さまには個別アカウントを配布しております。(登録及び会費は無料です。)



海洋大の「今」が分かるコンテンツを少しずつ充実させています。開発中の機能もありますが、ぜひ、実際に使ってみてください。



(校友会ホームページ) QRコード

【アカウント取得方法】

- 新入生の皆様：ご入学後、大学から付与されるメールアドレス（～@edu.kaiyodai.ac.jp）宛に校友会ホームページのID・パスワードを配布いたします。
- 保護者の方・卒業生の方：校友会ホームページの「新規登録」ボタンから申請をお願いいたします。校友会事務局で内容を確認後、ID・パスワードを送付いたしますので、分かる箇所は可能な限りご入力をお願いいたします。(在籍確認の関係上、新入生保護者の方は、4月中旬以降の対応となります。)

また、本学卒業生を支援する同窓組織として「楽水会」「海洋会」があります。本学卒業生との強固なネットワークを築いておりますので、ぜひご加入ください。
楽水会：<http://rakusui.or.jp/>
海洋会：<http://www.kaiyo-kai.com/>

校友会に関する問合せ先：

東京海洋大学校友会事務局
電話番号：03-5463-4014
メールアドレス：koyukai@o.kaiyodai.ac.jp

